



2009年度第1四半期 決算説明会

2 0 0 9 年 5 月 1 2 日
楽 天 株 式 会 社

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

1 2009年度 1Q 業績と戦略の振り返り

2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. クレジットカード事業
3. 銀行事業
4. トラベル事業
5. 証券事業
6. インフォシーク事業・広告事業
7. プロスポーツ事業
8. 電話事業

3 バランスシートの状況

参考資料

1 2009年度1Q 業績と戦略の振り返り

1. ネットサービスの売上高が21.9%増
(EC事業、トラベル事業、ポータルメディア事業の合計、前年同期比)

2. 不景気下でも高い増益率を達成、グループの
営業利益48.3%増、経常利益42.9%増
(前年同期比、新規連結のイーバンク銀行Gを除く)

3. 繰延税金資産計上に伴い当期利益14倍に(同)

4. 外部借入金削減による財務基盤の改善

5. 銀行事業がグループ入り、楽天経済圏内の
金融事業のポートフォリオが進化

■既存事業の好調に加え、繰延税金資産計上に伴い当期純利益が著しく増加 (単位:億円)

	08/1Q (08/1-3月)	09/1Q (09/1-3月)			
		イーバンクG* を含む	前年 同期比	イーバンクG* を除く	前年 同期比
売上高	595.2	663.6	+11.5%	618.2	+3.9%
営業利益	72.1	98.2	+36.2%	106.9	+48.3%
経常利益	69.9	91.2	+30.4%	99.9	+42.9%
EBITDA* ²	121.4	152.9	+25.9%	161.6	+33.1%
当期純利益	18.8	252.1	13倍	264.6	14倍

*1: 09/1Qより新規連結したイーバンク銀行グループ。楽天グループの銀行事業セグメントから楽天クレジットの業績を差し引いた数値を「イーバンクG」とする

*2: EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

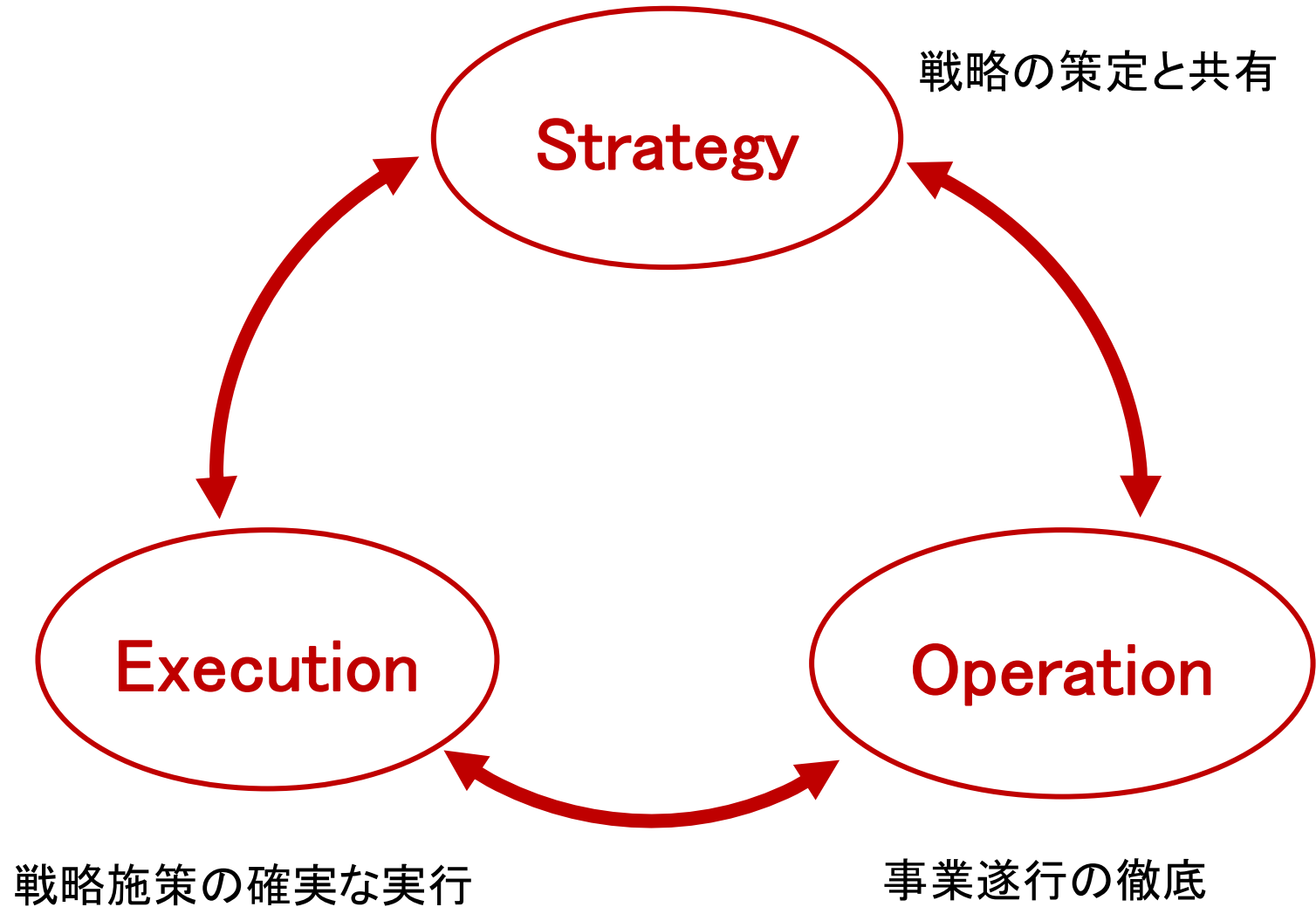
(単位:億円)

分類	事業セグメント	2008/1Q (2008/1月-3月)			2009年/1Q (2009/1月-3月)				
		売上高	営業 損益	営業 利益率	売上高	前年 同期比	営業 損益	前年 同期比	営業 利益率
ネット サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・EC事業 ・トラベル事業 ・ポータル・メディア事業*1 	284.5	54.1	19.0%	346.7	+21.9 %	98.2	+81.3 %	28.3%
ネット 金融	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード事業*2 ・銀行事業*2,3 ・証券事業 	229.5	33.9	14.8 %	264.4	+15.2 %	8.4	△75.1	3.2%
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・通信事業 ・プロスポーツ事業 	100.9	△12.5	-	77.3	△23.4%	△9.5	-	-
全社・内部消去		△19.8	△3.3	-	△24.9	-	1.1	-	-
連結		595.2	72.1	12.1%	663.6	+11.5%	98.2	+36.2%	14.8%

*1:08/4Qよりオーネット連結開始

*2:クレジット・ペイメント事業は今期よりクレジットカード事業と銀行事業に分割しております。

*3:09/1Qよりイーバンク銀行連結開始





Strategy

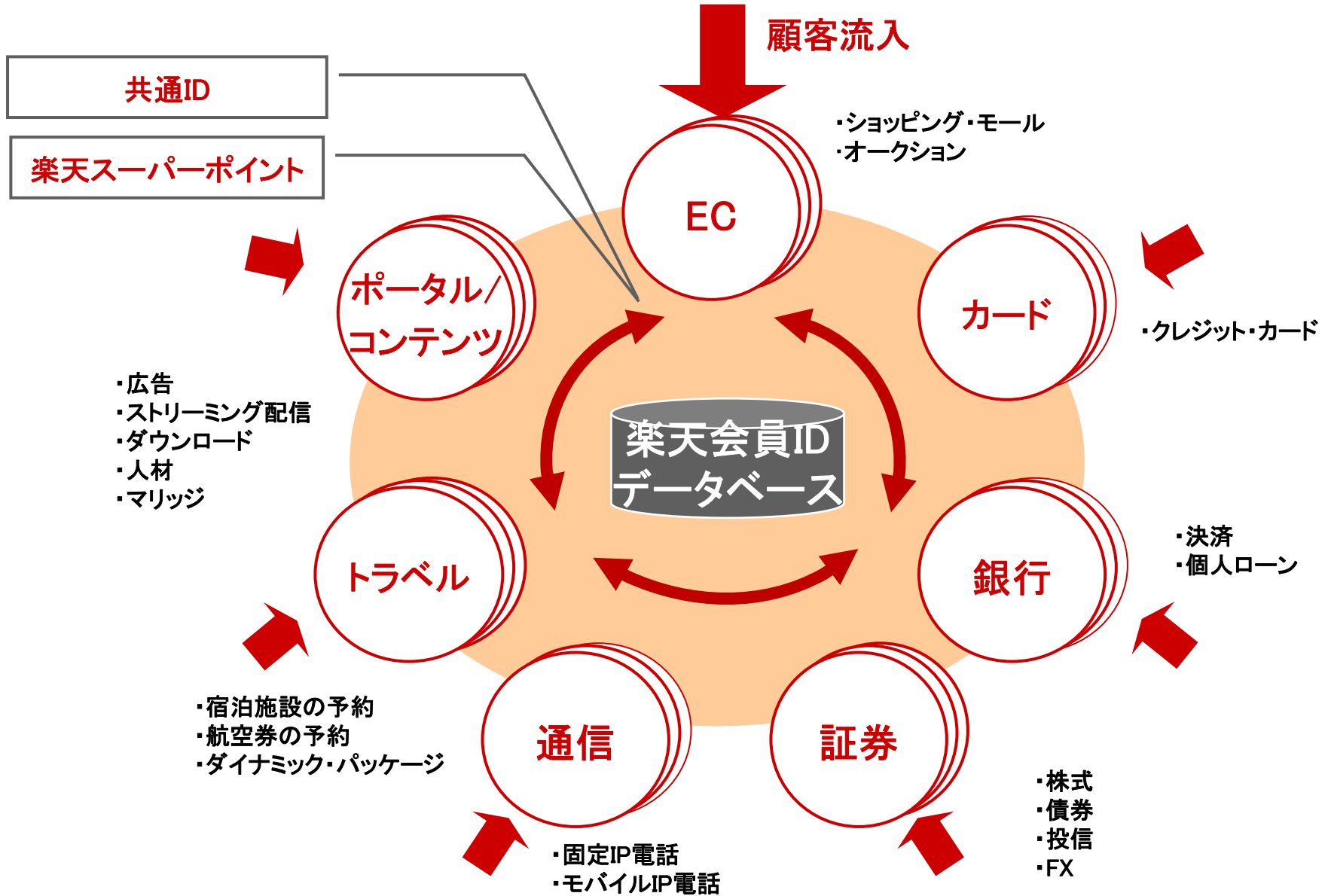
- 金融関連の事業ポートフォリオ進化
- 楽天クレジットとイーバンク銀行との統合を完了
- 楽天単体の借入金的大幅削減へ
- ショウタイム子会社化

金融事業を持つ意義

- カード・決済サービスとEC・トラベル事業等との高い親和性
- 会員1人から得られる利益の優位性(非金融と比較)
- 金融事業における低廉な顧客獲得コスト

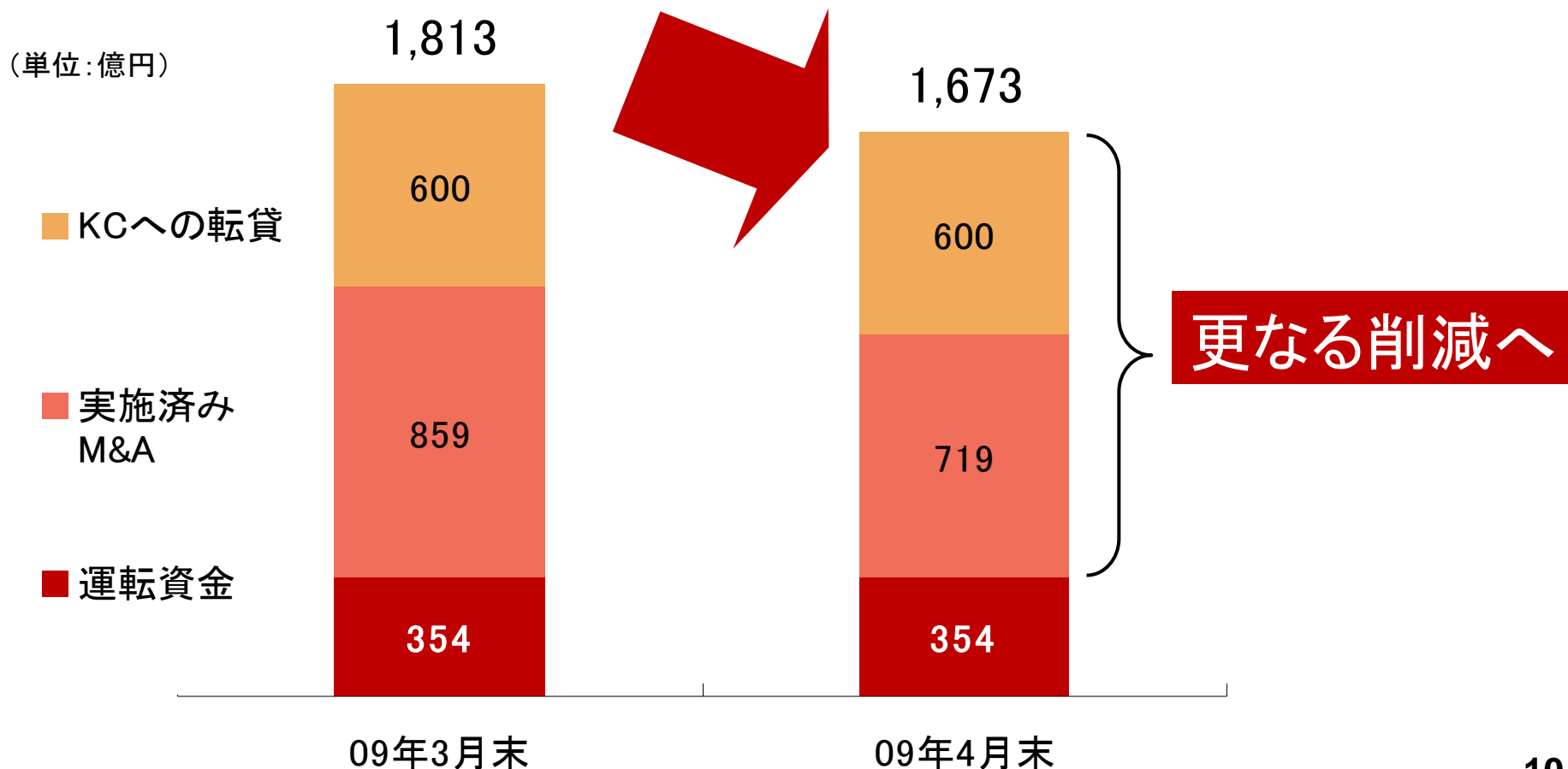
金融事業のポートフォリオの再編

- イーバンク銀行と楽天クレジットとの事業統合
- 東京都民銀行との提携終了



- 楽天単体の借入金は、返済を進め、更なる削減の方向へ
- 返済原資は、営業キャッシュ・フロー、債権流動化(KC)、有価証券売却資金等

楽天(株)の資金使途別の借入金残高



USENからショウタイム株式(50%)を追加取得し、完全子会社化を実現

楽天R天

保有割合50%

USEN

保有割合50%

楽天R天

完全子会社化



- ・事業内容: 有料動画配信サービス
主要コンテンツ: 韓国ドラマ、アニメ
- ・平成20年12月期業績
売上高: 5,179百万円
営業利益: 641百万円

■コンテンツ・メディア事業の強化

■資本力及び機動力に優れた楽天流の経営管理体制へ

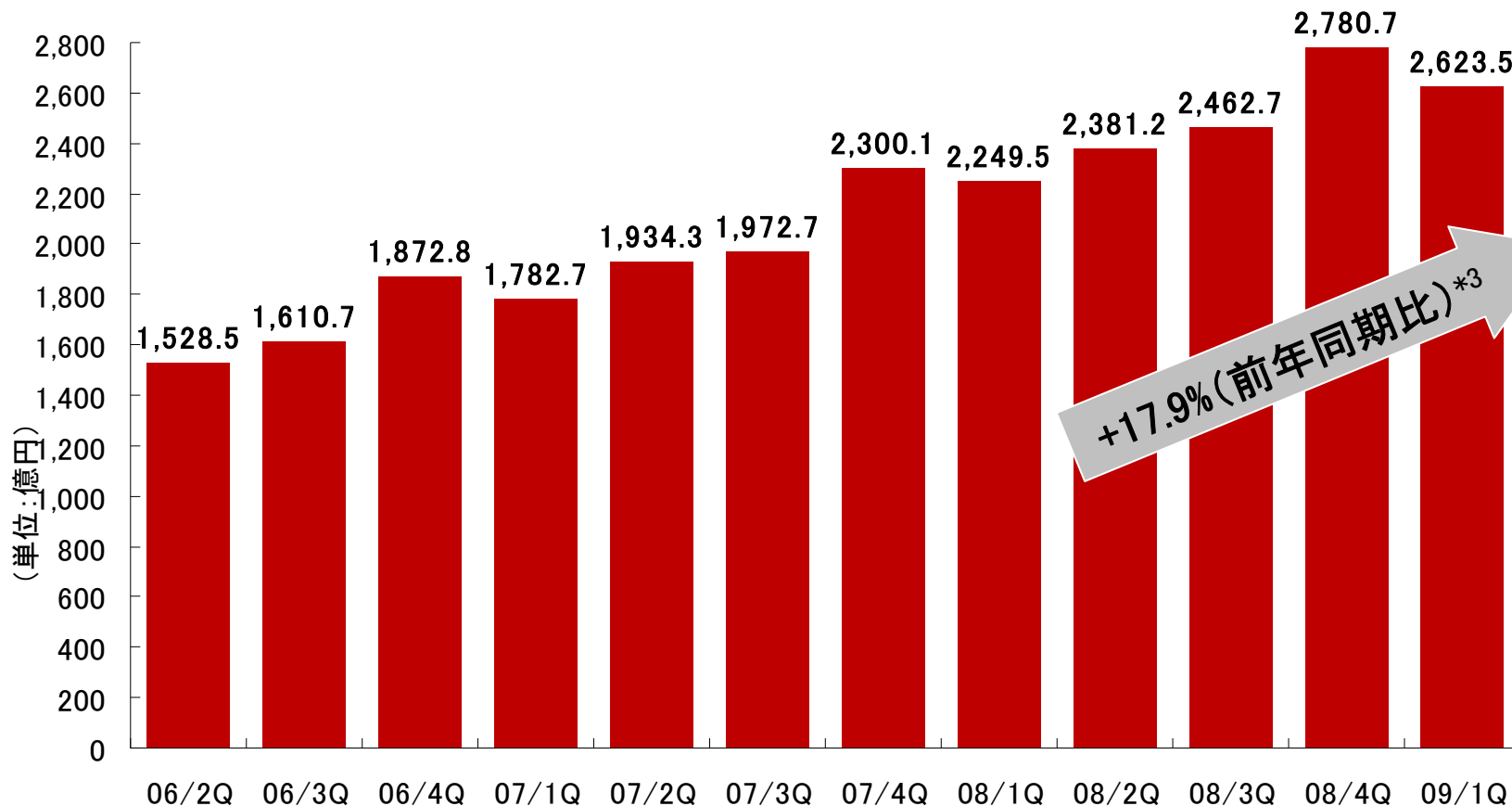


Execution

- 流通総額の成長モメンタム維持
- クロスユース比率の向上
- 会員数も順調に増加

■ トップラインの指標である流通総額の成長モメンタムを維持

■ 国内EC流通総額*1 + トラベル予約流通総額*2の合計は+17.9%(前年同期比)*3



*1:国内EC流通総額＝モール(通常購入・共同購入)、モバイル、オークション(旧フリマ含む)、ボックス、GORA、ビジネス、ダウンロード、チケット

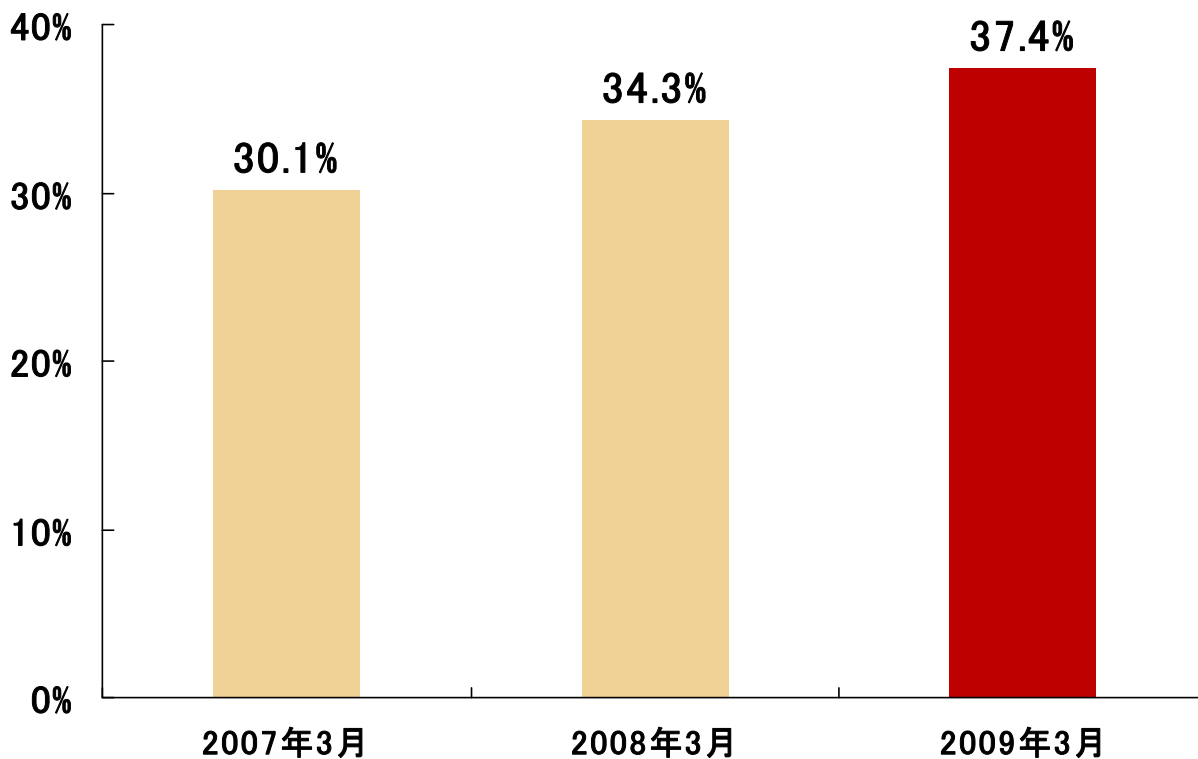
*2:トラベル予約流通総額＝予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)

＝国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

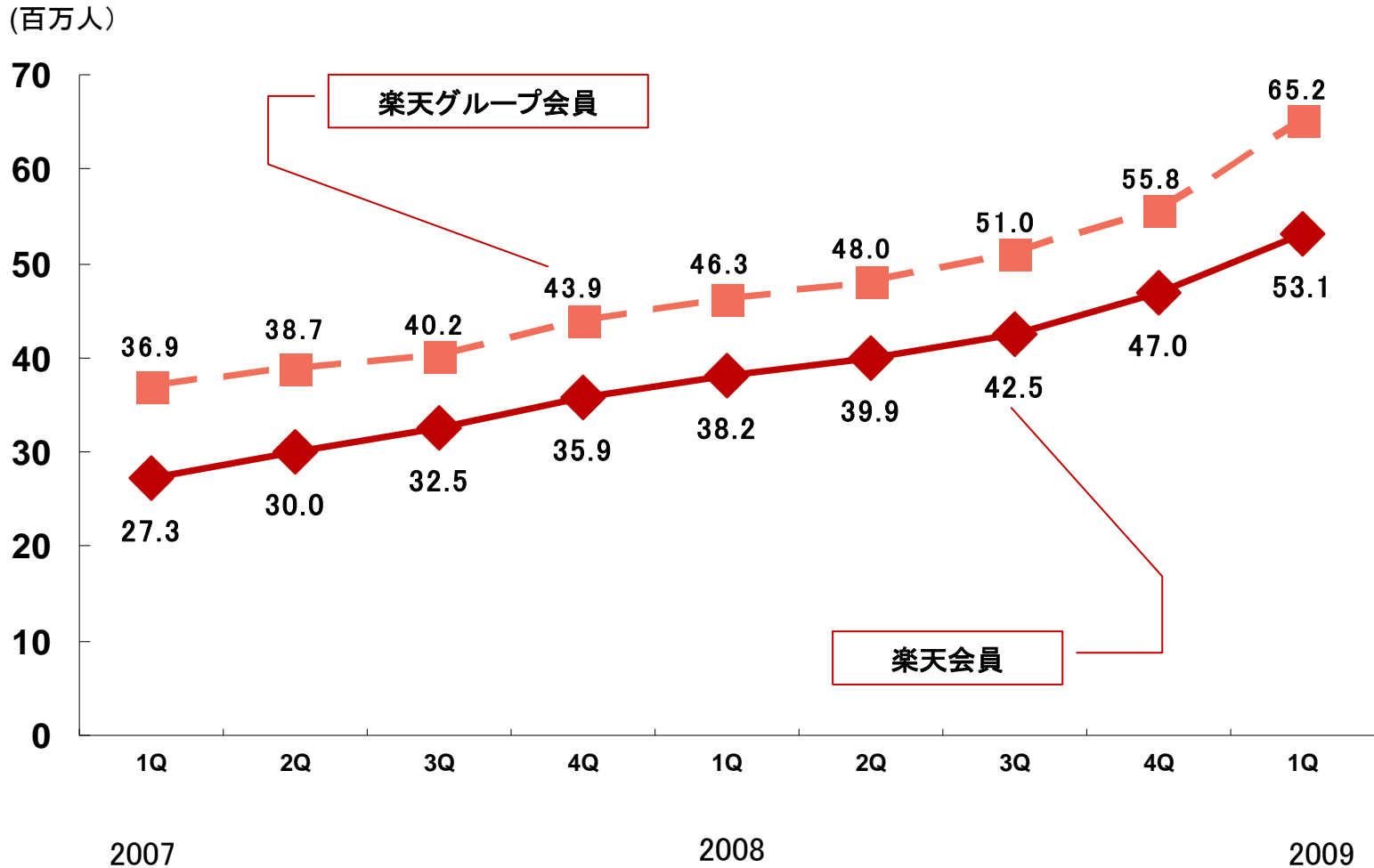
*3:閏年調整後数値。調整前は+16.6%

- パーソナリゼーション、ポイントプログラム戦略が奏功
- 居住地別のバナー配信等を実施、トラベルとのクロスユース好調

楽天会員の2サービス以上の利用率




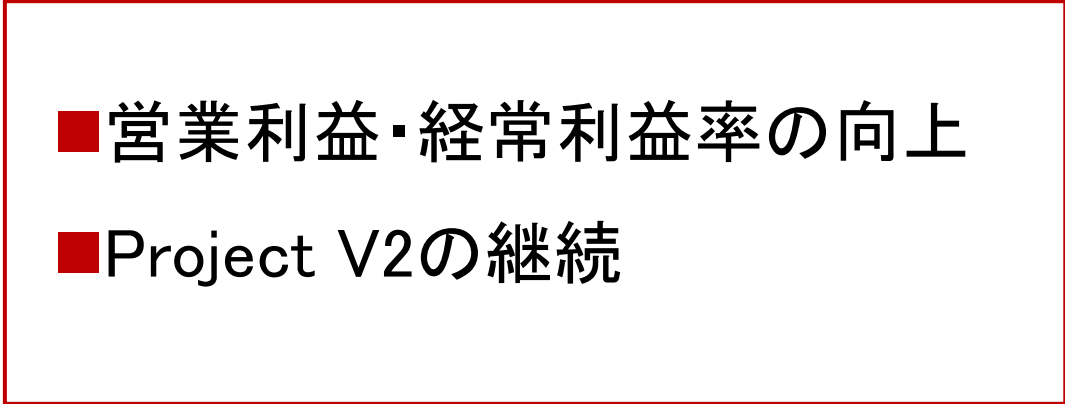
※当該月間の楽天スーパーポイント獲得可能サービスの利用者が、過去12ヶ月間に他サービスを利用した場合をカウント
※楽天スーパーポイントが獲得可能なサービスの利用に限る(証券等を含まない)



* 楽天会員：楽天市場、楽天トラベル、インフォシーク、楽天グリーティングなどで利用可能な統合されたユーザーIDを取得している登録会員
* 楽天グループ会員：楽天会員に加え、旧旅の窓口会員などの統合前の旧サービスID並びに楽天証券、楽天KC及び楽天クレジット等の楽天会員とIDが統合されていないサービスの会員



Operation

- 
- 
- 営業利益・経常利益率の向上
 - Project V2の継続

第一段階目標

経常利益率 25%

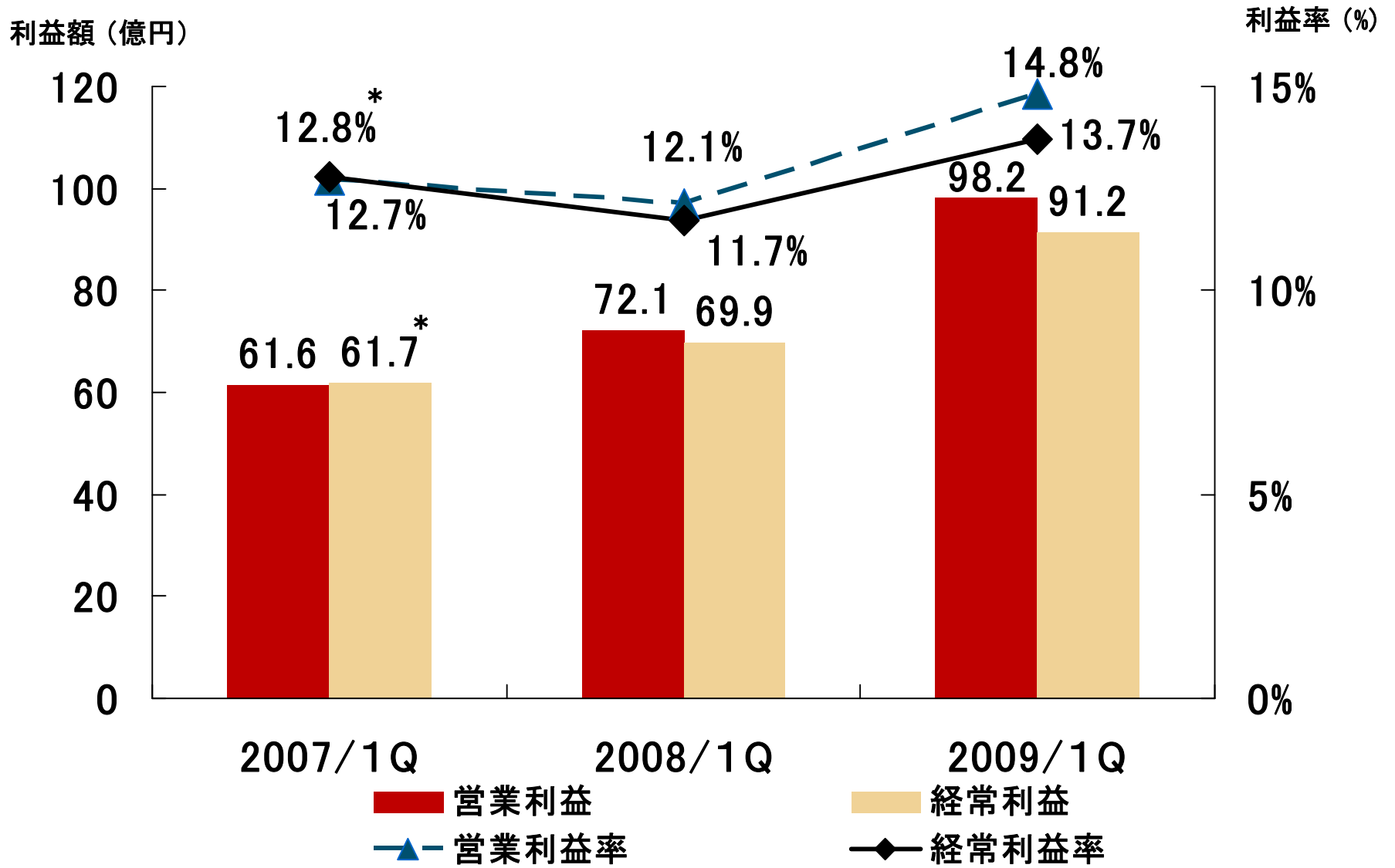
第二段階目標

経常利益率 30%

ATAGO30の実現に向けて

中長期を見据えた戦略性

Project V2 の実施



*2007/1Qの経常利益については、一過性の有価証券売却益1,105百万円を控除した補正額を表示

■ 固定費削減の継続

- グループ会社(主に新規連結会社)にて実施中
 - イーバンク銀行:費用構造の抜本的見直し
 - オーネット:支店統廃合、オフィス移転
 - フュージョン:コールセンターの統廃合、オフィス移転

■ 既存事業の効率性の向上

- 費用対売上高のコントロールを継続
 - 開発部門費用／流通総額
 - 販促費用／売上高

2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. クレジットカード事業
3. 銀行事業
4. トラベル事業
5. 証券事業
6. インフォシーク事業・広告事業
7. プロスポーツ事業
8. 電話事業

2 -1 樂天市場事業

■ 売上・利益とも
高い成長を維持



- 売上高成長+24.1%（前年同期比）、営業利益が88.6億円（伸長率+54.2%、同）
- 流通総額も+20.7%増*と成長トレンド

■ ユニーク購入者数・
店舗数ともに順調に
増加



- ユニーク購入者数は717万人
- 商品ジャンルのホワイトスペースを埋める積極的な店舗誘致活動により店舗数増加

■ 『中古市場』、『中古
買取』サービスをリ
リース

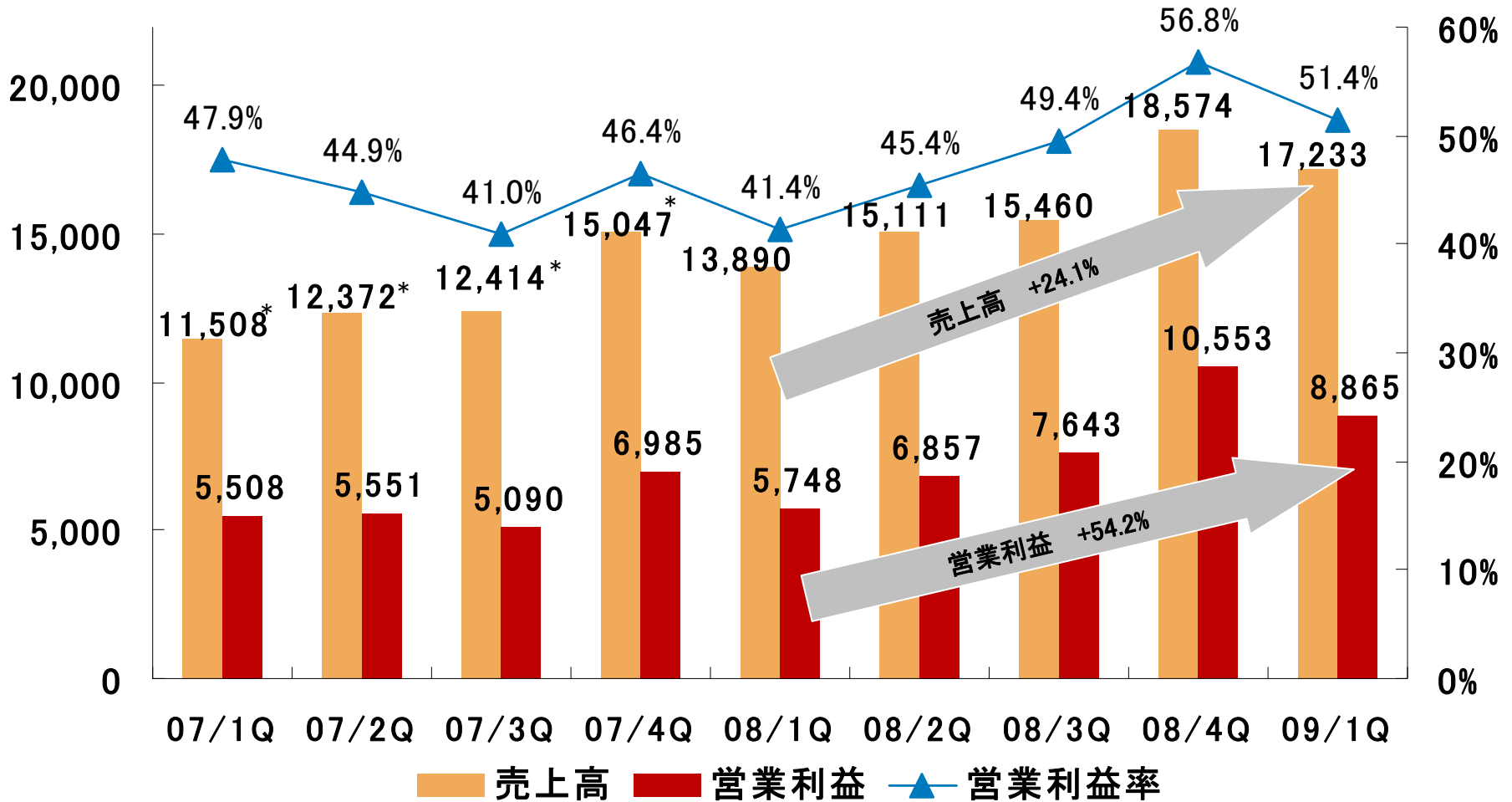


- 消費者の節約志向・エコ志向に対応
- 利便性の高い買い物環境を提供
- 対象ジャンルも順次拡大予定

* 閏年調整後。調整前は+19.4%

■売上高成長率は+24.1%(前年同期比)、営業利益は+54.2%(同)

(百万円)

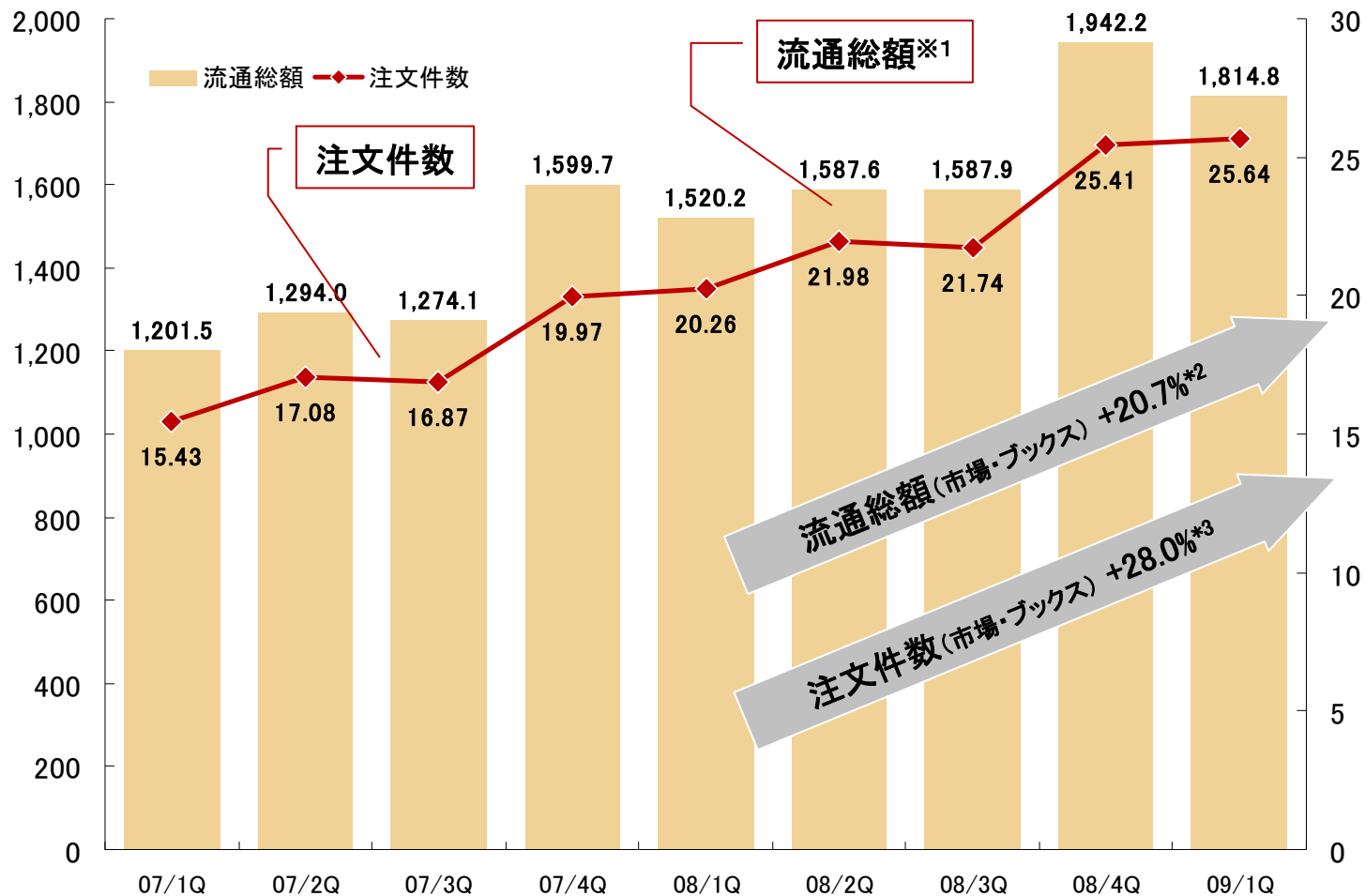


※ 2007年度については店舗広告のグループ内取引の売上高の計上方法を変更する前(従来基準)の売上高を表示

■市場・ブックスの流通総額は前年同期比+20.7%*2と順調に成長

流通総額 (億円)

注文件数 (百万件)



*1: 流通総額=モール(通常購入・共同購入)・モバイル(通常購入・共同購入)・ブックス

*2: 閏年調整後。調整前は+19.4%

*3: 閏年調整後。調整前は+26.6%

■ユニーク購入者数は前年同期比+20.5%と順調に成長持続

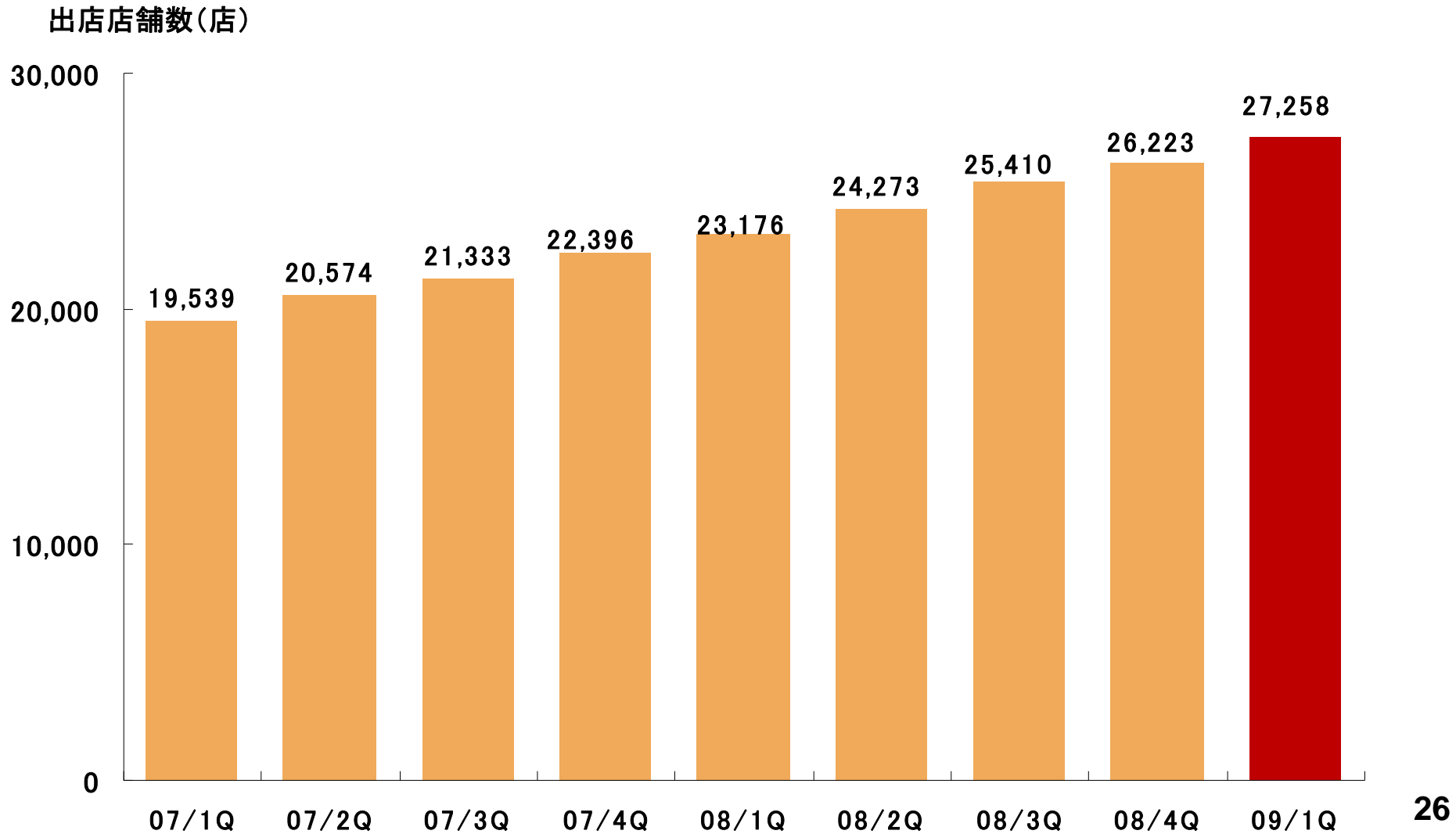
	2007/1Q	2007/2Q	2007/3Q	2007/4Q	2008/1Q	2008/2Q	2008/3Q	2008/4Q	2009/1Q
ユニーク 購入者数*2	473万人	514万人	518万人	581万人	595万人	633万人	637万人	703万人	717万人
注文件数	1,441万件	1,614万件	1,580万件	1,869万件	1,885万件	2,078万件	2,065万件	2,419万件	2,405万件
平均購入回数	3.05回	3.14回	3.05回	3.22回	3.17回	3.28回	3.24回	3.44回	3.35回
一回当たりの 購入金額	8,092円	7,814円	7,822円	8,298円	7,804円	7,443円	7,509円	7,844円	7,346円
一人当たりの 購入総額*3	24,649円	24,527円	23,827円	26,687円	24,726円	24,413円	24,327円	26,969円	24,637円

*1 メールアドレスベース、モール・モバイルでの通常購入及び共同購入

*2 ユニーク購入者数: 当該四半期の間に1回以上楽天市場で商品を購入したユーザーをメールアドレスベースで名寄せした数

*3 一人当たりの購入総額=当該四半期楽天市場流通総額÷ユニーク購入者数

■ 出店店舗数がコンスタントに増加



- 消費者の節約・エコ志向を反映し、中古品の人気上昇
- 新生活に向けた家電等の購入・買替需要に対応

▶ 対象ジャンル:6ジャンル 商品数:約45万点

カメラも楽器もエコ得!地球にもお財布にも優しいアイテムをご紹介

中古市場

Recycling

▶ カメラ ▶ 家電・AV ▶ PC・周辺機器 ▶ ゲーム・CD・DVD ▶ 楽器 ▶ 本・雑誌・コミック

■『中古買取サービス』も開始

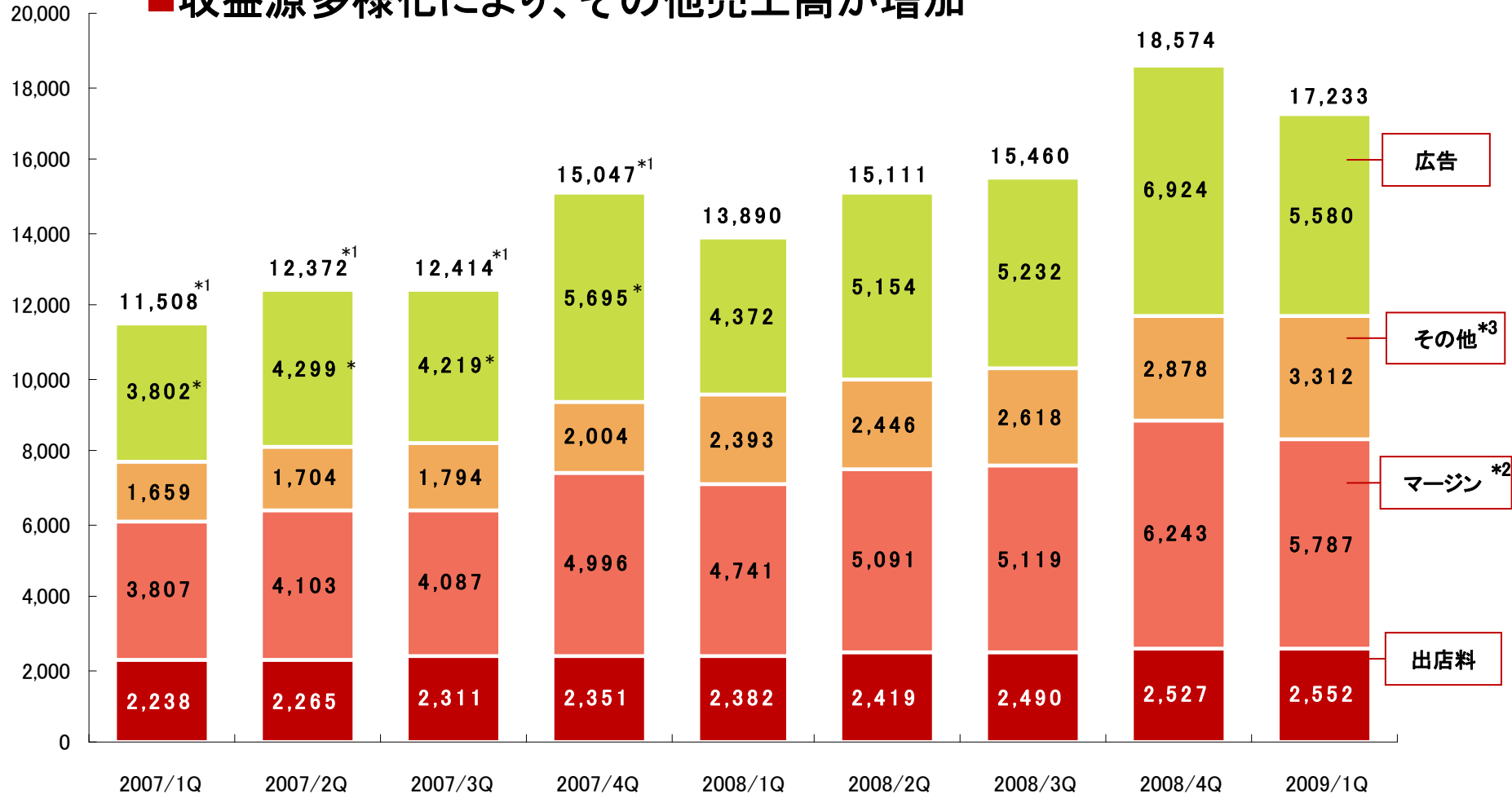
▶ ユーザーからの店舗への中古品買取りの仕組みを構築、流通を活性化

あなたの不用品お売りください!

商品買取りならこのショップにおまかせ

(百万円)

■ 収益源多様化により、その他売上高が増加



※1 店舗広告のグループ内取引の売上高の計上方法を変更する前の売上高

※2 楽天ブックス(株)合併に伴う同社からのマージン収入の減少に相当する金額 08/1Q △1.4億円、08/2Q、△1.3億円、08/3Q △1.1億円、08/4Q△1.3億円、09/1Q △1.4億円

※3 08/1Qよりファインワイン事業、ぬいぐるみ事業およびグリーティング事業を楽天市場BUIに吸収

2 -2 クレジットカード事業

■ 楽天カードが引き続き
営業収益を牽引



- グループ会員基盤を利用した募集が加速
- ショッピングリボ残高約220億円積増しに成功
(前年同期比)

■ 悪環境下でも回収力を
強化



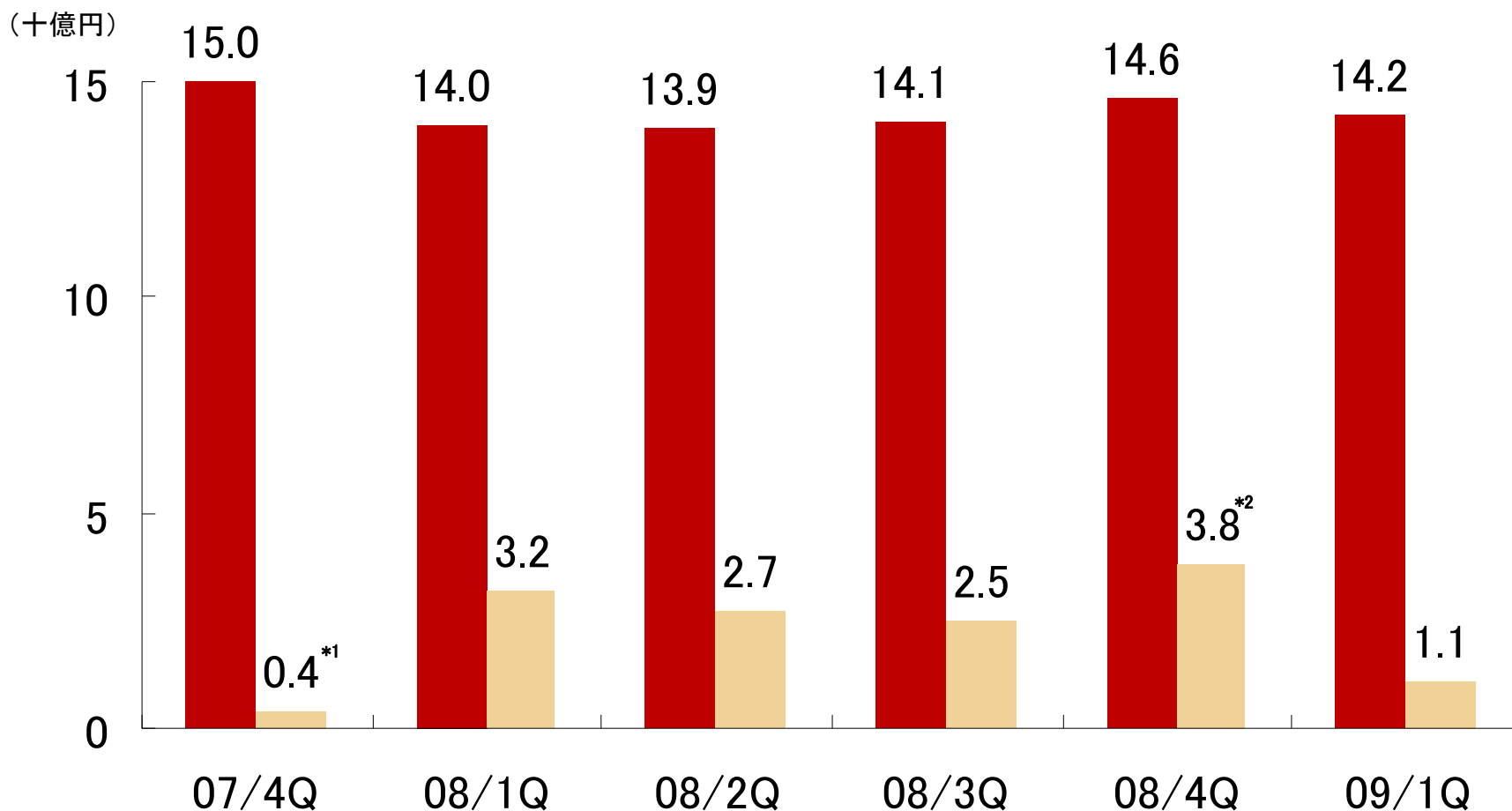
- 当月未回収債権の継続的な圧縮
- 未回収13ヶ月以上債権の圧縮

■ 今後の取組み



- ショッピングリボ拡大による収益力強化
- E-Naviを利用したペーパーレス化の推進
- 利用に応じた手数料体系の見直し
- 改正貸金業・割賦販売法への対応

■ 売上高は前年同期と同水準、楽天カード会員増に伴う費用増や経済環境の悪化にも関わらず安定的な黒字を確保

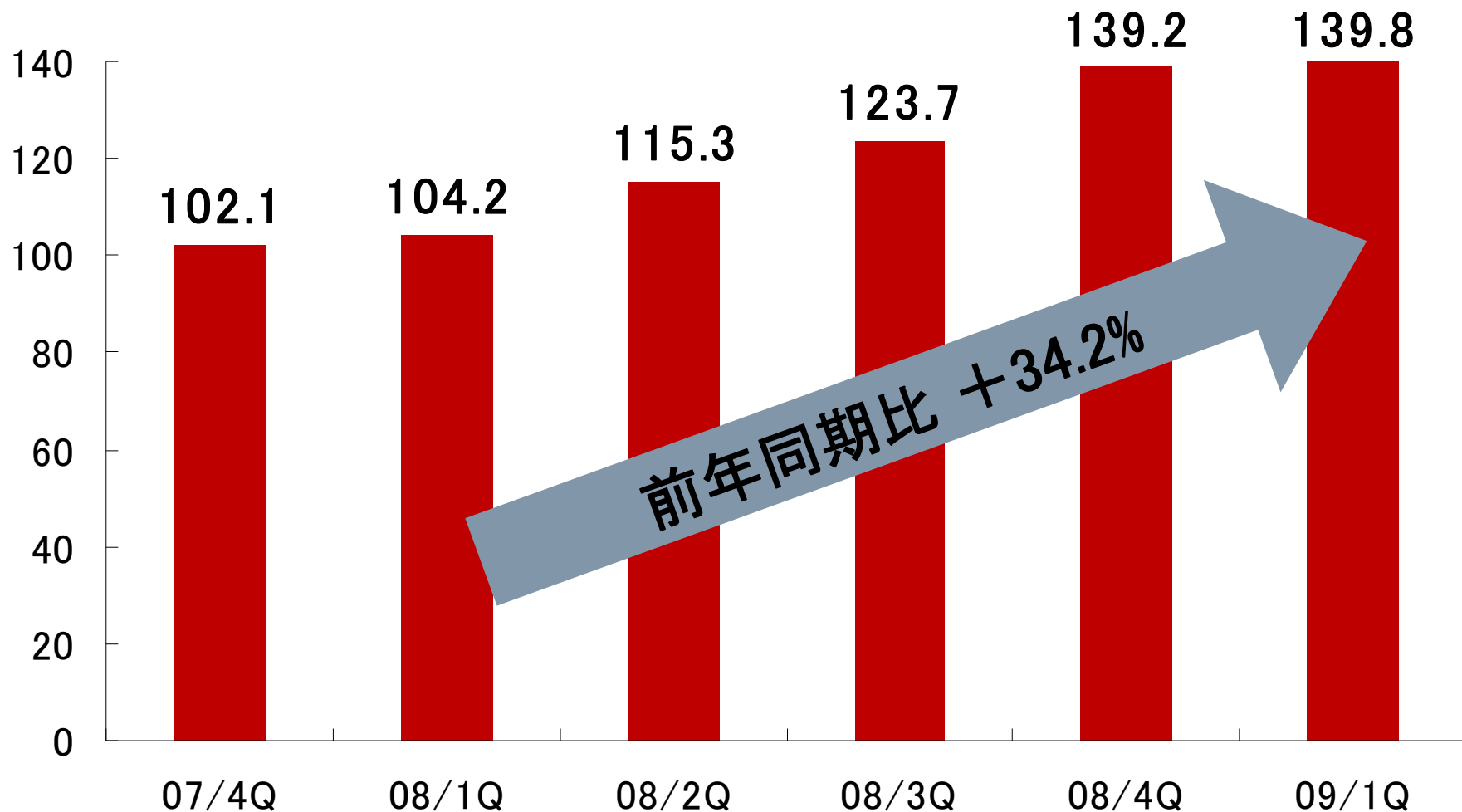


*1: 07/4Qの営業利益は、利息返還請求に関する一時的な費用を控除した額を表示

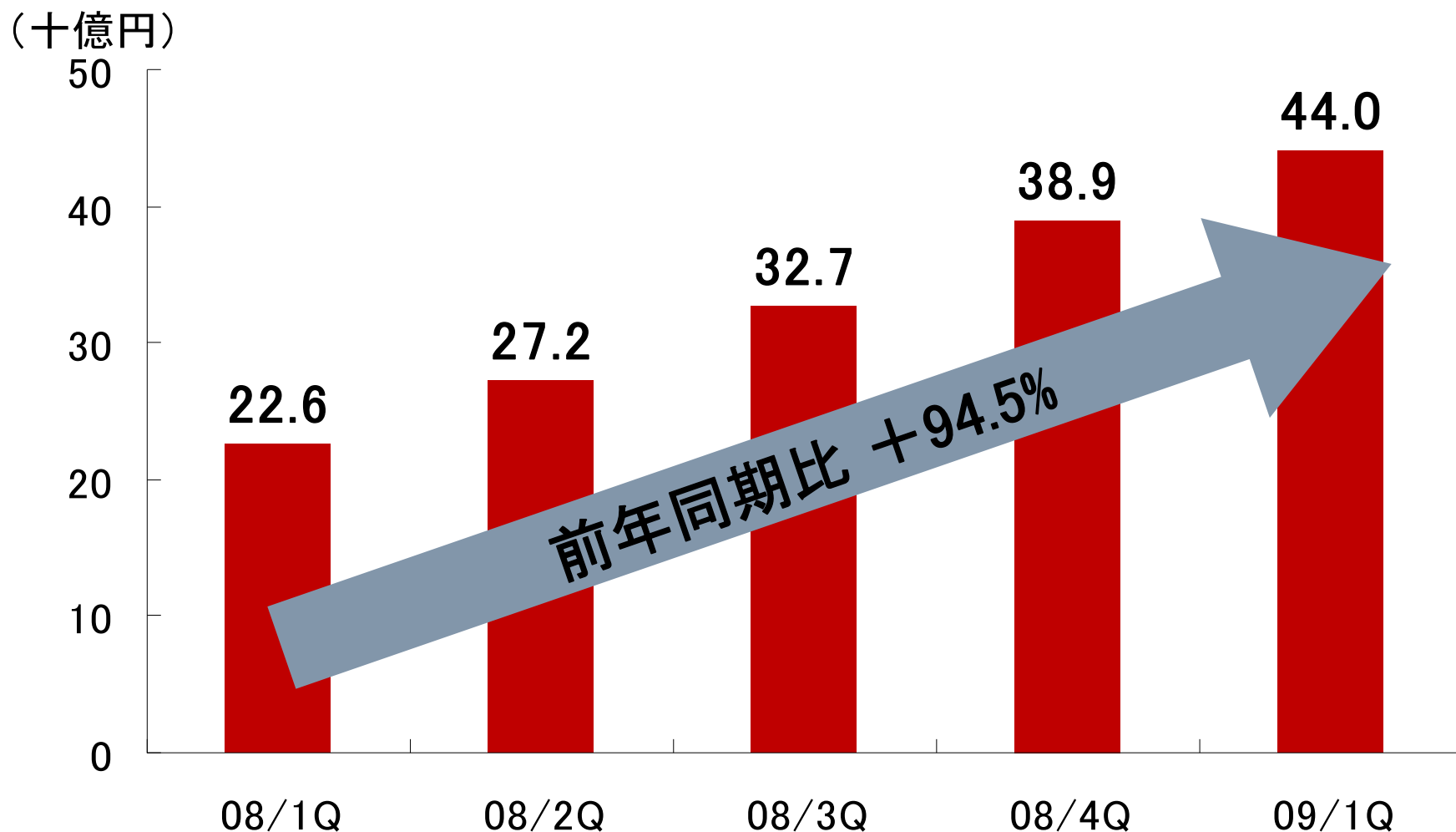
*2: 08/4Qの営業利益には債権売却に伴う貸倒費用の減少による一過性の利益押し上げ効果約6億円を含む

■取扱高は楽天カードの安定的な募集に支えられ前年同期比+34.2%

(十億円)



■リボ残高は前年同期比+94.5%と成長を維持



2 -3 銀行事業

■09/1Qより連結開始
著しく業績が改善



- 経常黒字を達成(イーバンク銀行連結)
- 基礎収支*も改善傾向
- 一方、楽天連結では会計調整による差損発生
- ATM手数料体系の変更により更なる収益改善へ(8/1より変更予定)

■ポートフォリオの入替
とBSスリム化を推進



- 運用資産・預金とも構成を適正化、収益基盤を強化
- 楽天クレジットの個人向けローンを承継、イーバンクの商品としてサービス開始(貸出金利4.9%~17.8%)

■楽天流の経営管理



- コスト管理と「見える化」を徹底
- グループ内の連携プロジェクト推進中

* 基礎収支=投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの

運用ポートフォリオの入替えを促進

1. 価格変動リスクの伴う不動産関連・ファンド等の処理は連結前に一段落

2. 低利回りの国債の売却・償還を実施 1,861億円減*

- イーバンク銀行では売却益、黒字化に貢献

3. 安定的かつ一定の収益を得られる個人ローン等へシフト

- リスクマネージメントを行いつつ、債権証券化商品に投資 515億円増*

- 楽天クレジットから個人向けローン債権を承継(09/4/1) 923億円増*

注)09/3月末で940億円を楽天クレジットへの貸付金として資産計上、4月1日の吸収分割と併に貸付金は消滅

*増減は08年12月末比

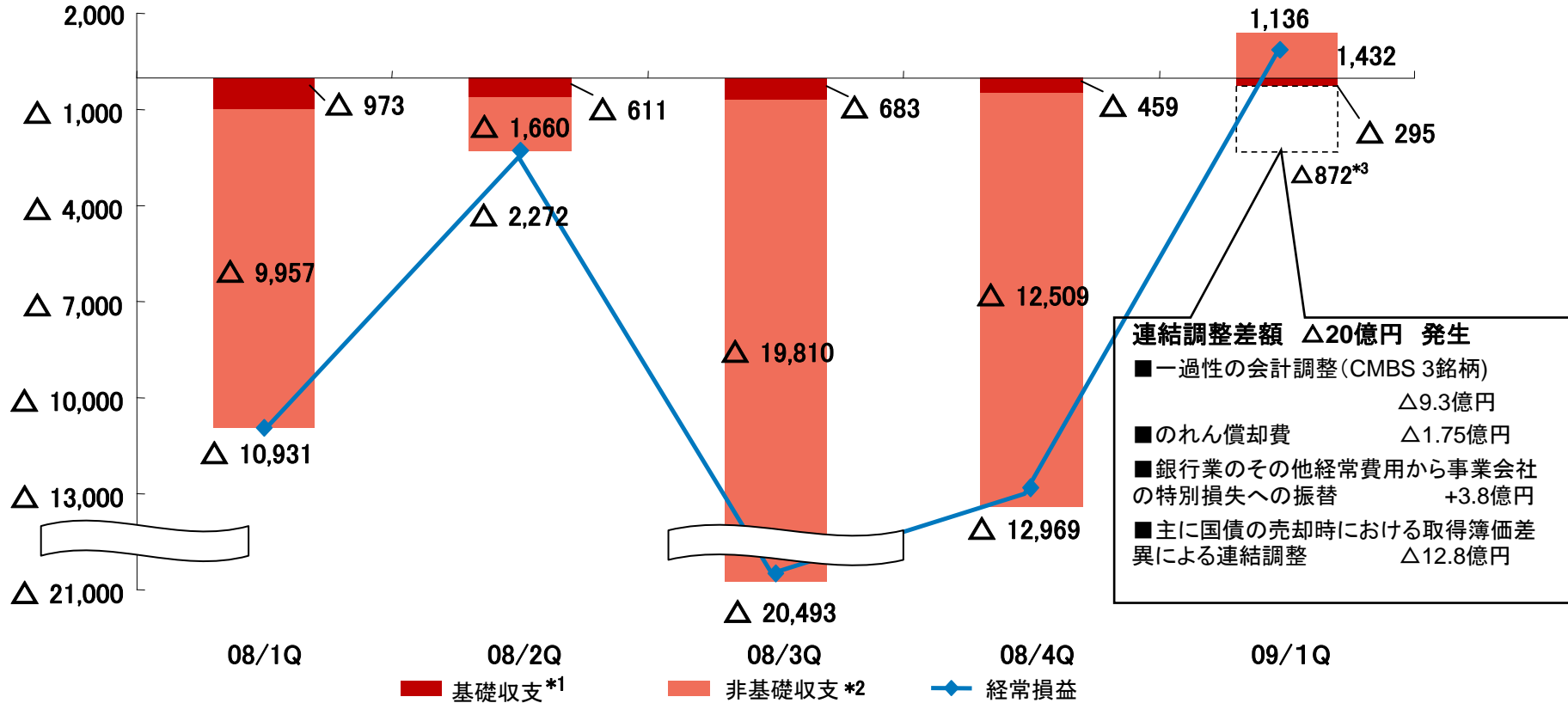
預金構成の適正化

- 高利回り定期預金を圧縮、資金調達コストの引下げへ

B/Sスリム化と収益基盤強化を推進

- 楽天連結では連結調整等により赤字となったが、イーバンクでは黒字化を実現
- 基礎収支は改善傾向

(単位:百万円)



*1:基礎収支=投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。
 *2:非基礎収支=投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等による収支。
 *3: 楽天グループにおけるイーバンク銀行グループの業績への影響。銀行事業セグメントの営業利益から、楽天クレジット(株)の営業利益を控除した額。2009/1Qより楽天グループ連結対象。

運用資産及び預金の状況

(単位:億円)

	2008/12末 時価残高	2009/3末 時価残高	引当金	含み損益 (イーバンク基準)	含み損益 (連結基準)	増減額
国債・地方債・公社債	6,399	4,887	0	51	9	-1,512
国債	6,091	4,229	—	63	15	-1,861
その他 ^{※1}	308	657	0	-11	-6	349
貸付金^{※2}	15	947	0	—	—	932
株式等	22	21	9	0	0	-0
証券化(金銭債権信託受益権)	125	640	25	0	0	515
ファンド等	157	146	—	-9	0	-11
ヘッジファンド	101	98	—	-9	0	-2
その他	56	48	—	0	0	-8
証券化(不動産)	415	398	96	-13	2	-16
私募ファンド(時価無し)	201	186	96	—	—	-14
CMBS(時価有) ^{※3}	193	191	—	-13	2	-1
CDO ^{※4}	20	20	—	—	—	-0
合計	7,135	7,041	131	29	11	-93

※1 国債・地方債・公社債のその他には、政府保証債、地方債、公社公団債等を含む

※2 2009年3月末の貸付金には楽天クレジットへのブリッジローン940億円を含む

※3 2008年12月末のCMBSの時価を修正(修正前:183億円)

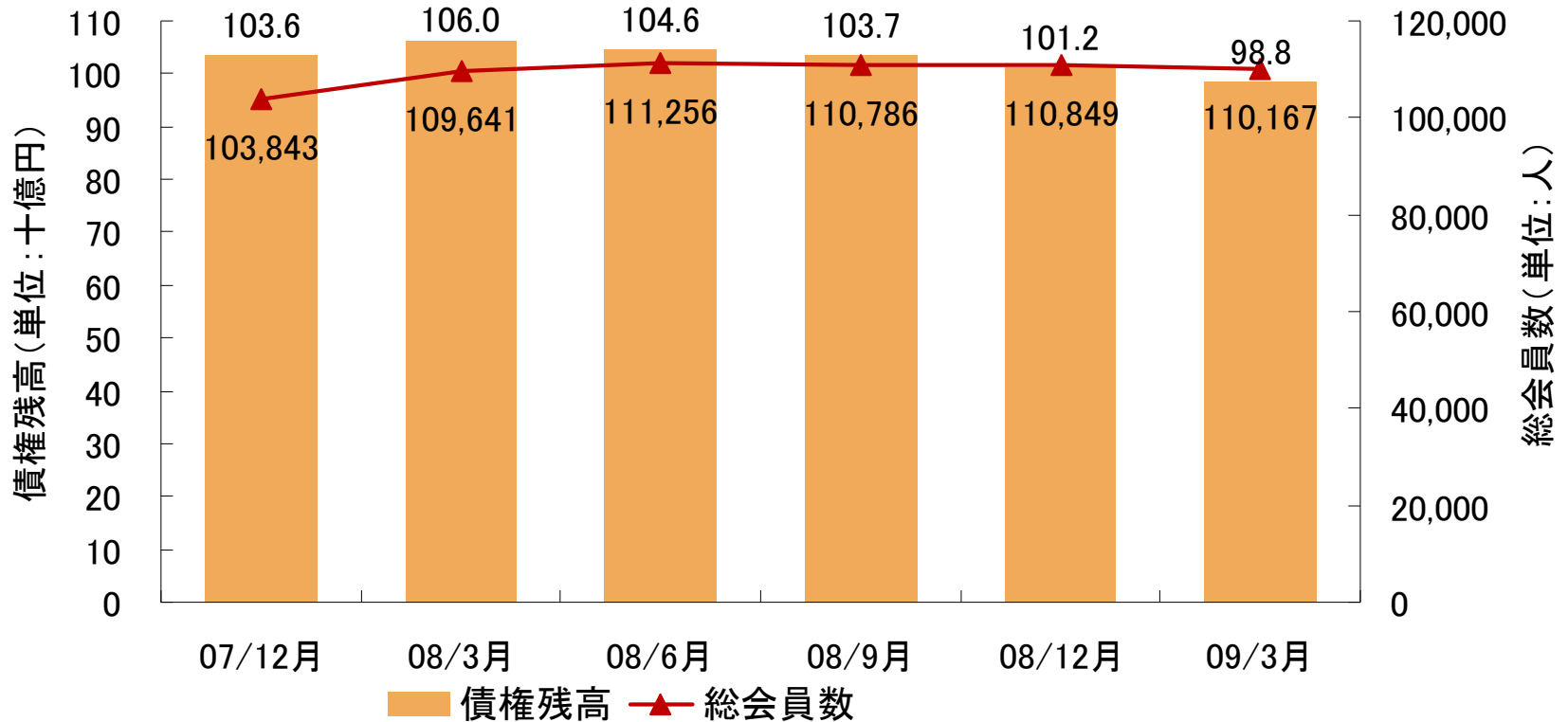
※4 CDOについては4月末時点で約20億円を償還済み

	2008/12末残高	2009/3末残高	増減額
預金残高	7,718	7,342	-375
普通預金	2,516	2,789	273
定期預金	4,680	4,015	-664
その他預金	521	537	15

※1 イーバンク銀行(連結)の預金残高を記載

※2 その他預金には別段預金の他、外貨預金等を含む

- 前四半期同様に、販促費を抑制したため債権残高は前四半期比△2.4%
- 4月以降、イーバンク銀行の『マイワン』としてキャンペーン実施



	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3
貸倒引当残高率	2.19%	2.35%	2.43%	2.59%	2.64%	2.77%

※貸倒引当残高率: 引当残高 / 期末債権残高

2 -4 トラベル事業

■ 営業利益が大幅に増加

- 広告販売が好調で売上高成長+14.0% (前年同期比)
- 営業利益も+36.5%と著しく増加(同)

■ 予約流通総額は10.5%増*(前年同期比)

- 出張控えによる影響を受けるもレジャー目的の利用が大幅増
- GW需要の取り込みに成功

■ 『旅色LuxuryStays』創刊

- 大人の女性をターゲットに、シーズンに合わせたテーマと旅行スタイルを提案
- 全国から厳選された約20施設を紹介

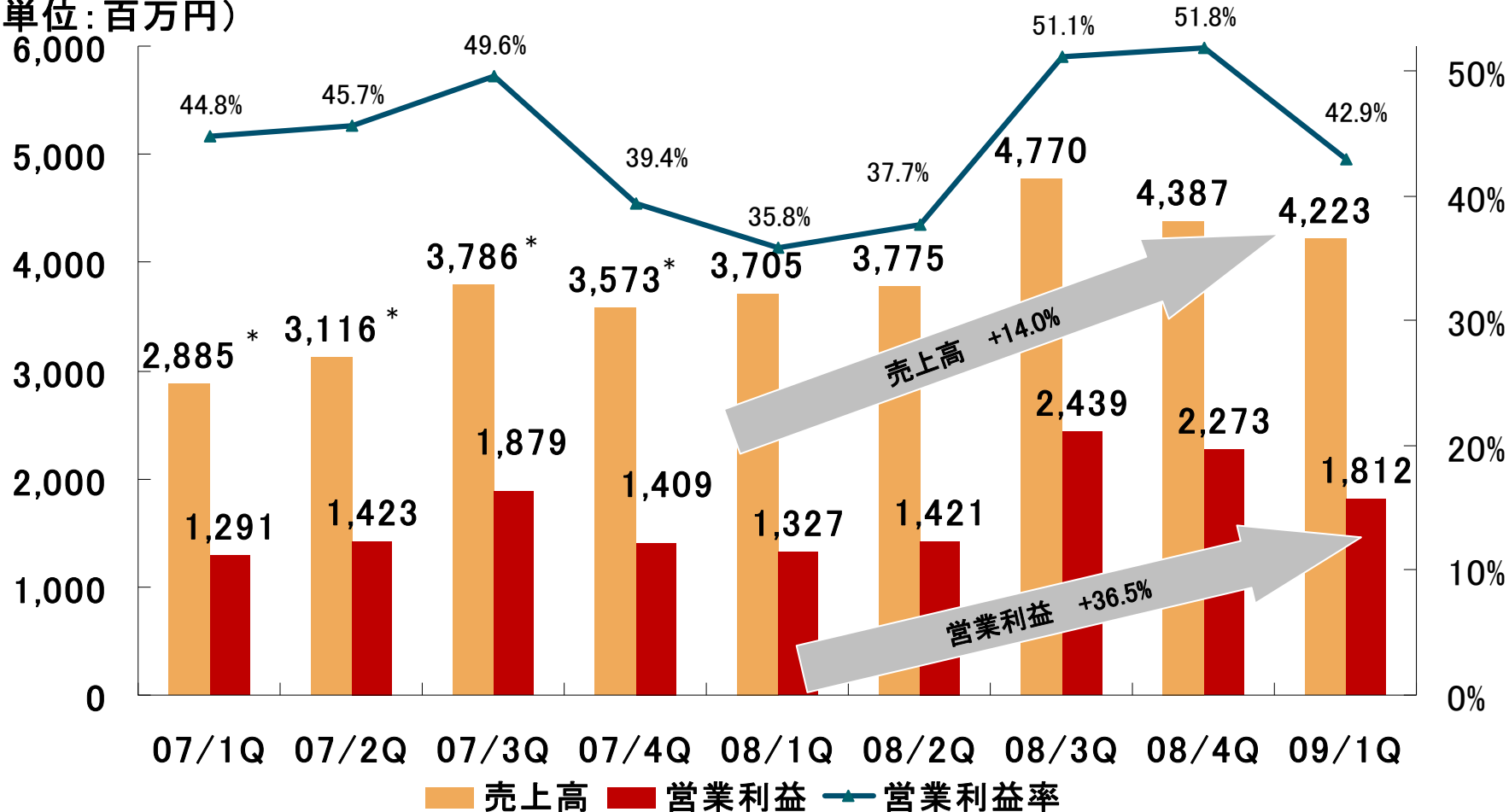
■ 楽天トラベル主催『新幹線×駅レンタカー楽パック』販売開始

- 楽天トラベルの主催旅行となる、新幹線・レンタカー・宿のパッケージ商品
- JR東日本との共同企画商品 第三弾『びゅう楽トク仙台』も同時発売

*: 閏年調整後。調整前は9.2%

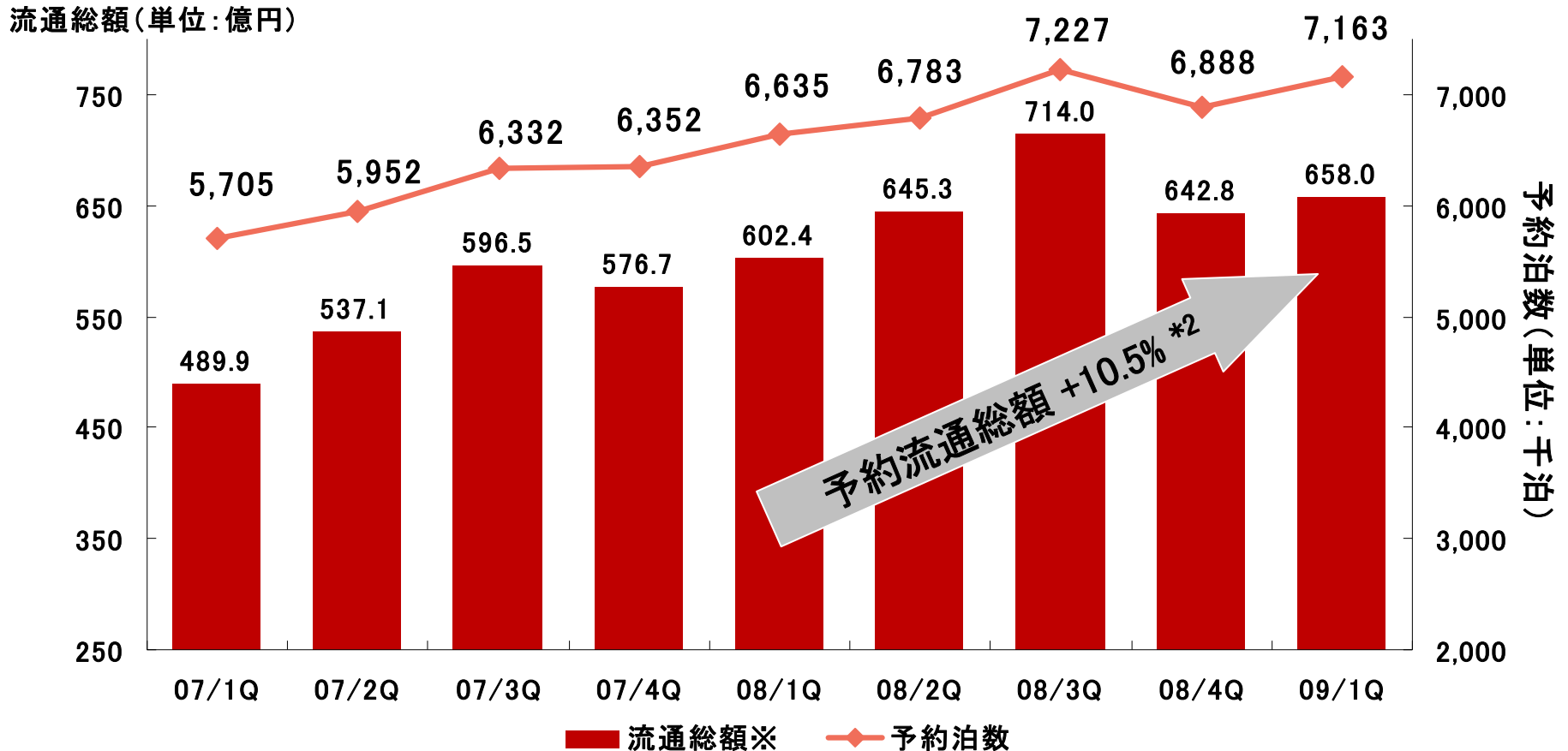
■売上高+14.0%、営業利益+36.5%(前年同期比)と高い成長を維持

(単位:百万円)



* 店舗広告のグループ内取引の売上高の計上方法を変更する前(従来基準)の売上高

■レジャー需要取り込みが継続、予約流通総額は+10.5%*2(前年同期比)



*1:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)

=国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

*2:閏年調整後。調整前は9.2%

2-5 証券事業

- 各社大きく減収減益となる中、減益幅は他社比で小幅に
- 株式以外の商品が収益を下支え、コスト削減効果が奏功
- 単体ベースの経常利益率は前年同期比プラスに

(単位:百万円)

	楽天証券HD				SBI証券	松井証券	カブドットコム証券	マネックス				
			うち 楽天証券単体									
営業収益	5,154	△ 21%	5,048	△ 23%	10,282	△ 17%	5,321	△ 34%	3,503	△ 22%	4,444	△ 34%
販管費	4,032	△ 10%	3,617	△ 17%	7,387	△ 6%	3,479	△ 4%	2,125	△ 7%	3,667	+7%
経常利益	500	△ 37%	859	△ 21%	1,381	△ 57%	1,345	△ 65%	955	△ 50%	170	△ 94%
同率	10%	△ 2P	17%	+0.5P	13%	△ 13P	25%	△ 22P	27%	△ 15P	4%	△ 36P
当期利益	515	黒字 転換	986	黒字 転換	809	△ 48%	1,736	△ 21%	528	△ 56%	△ 75	赤字 転換

(注)各社業績は松井証券を除き単体ベース。SBI証券、マネックス証券については、各社開示資料より当社作成

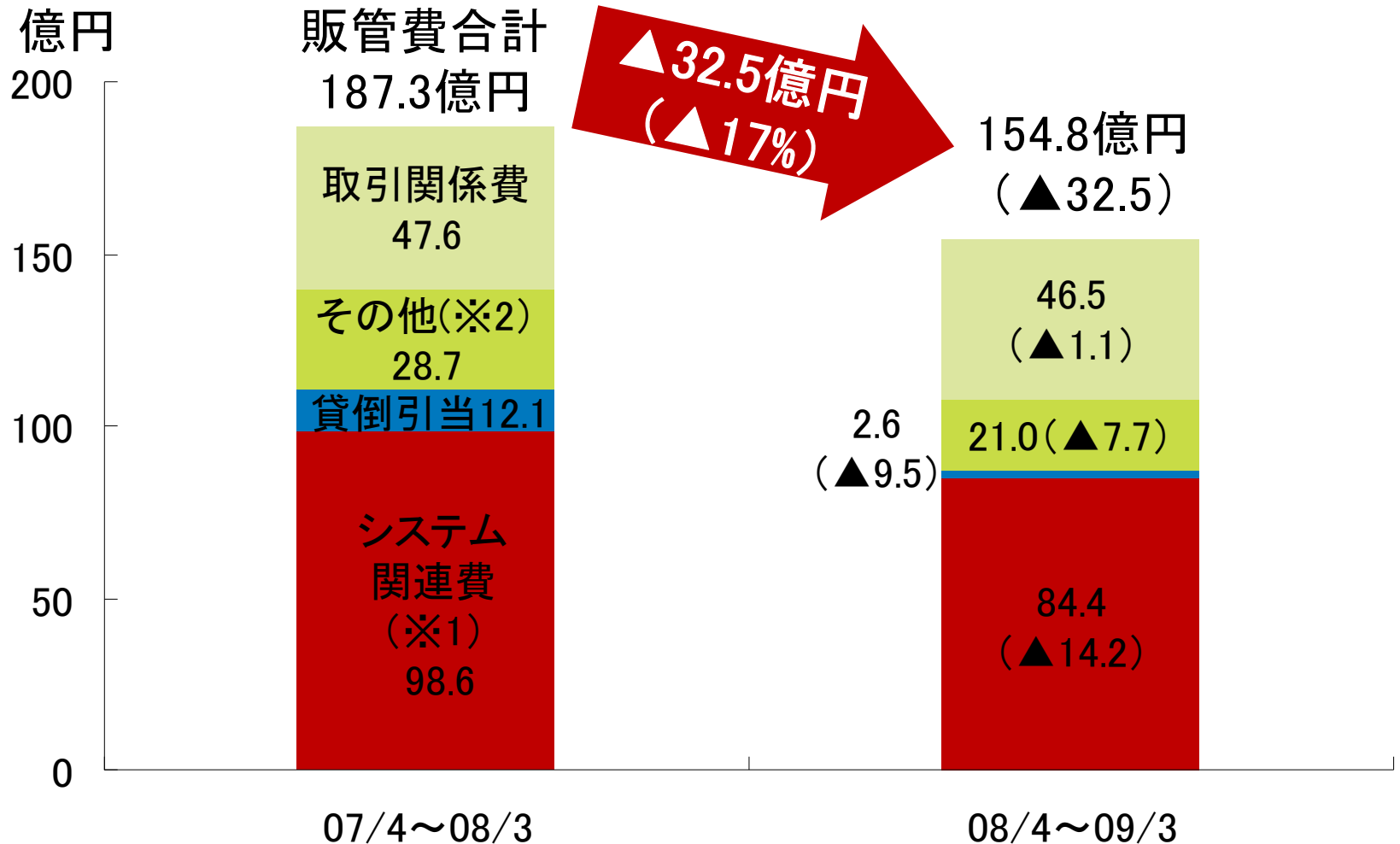
■年度を通じても利益の落ち込みは他社対比、小幅に

(単位:百万円)

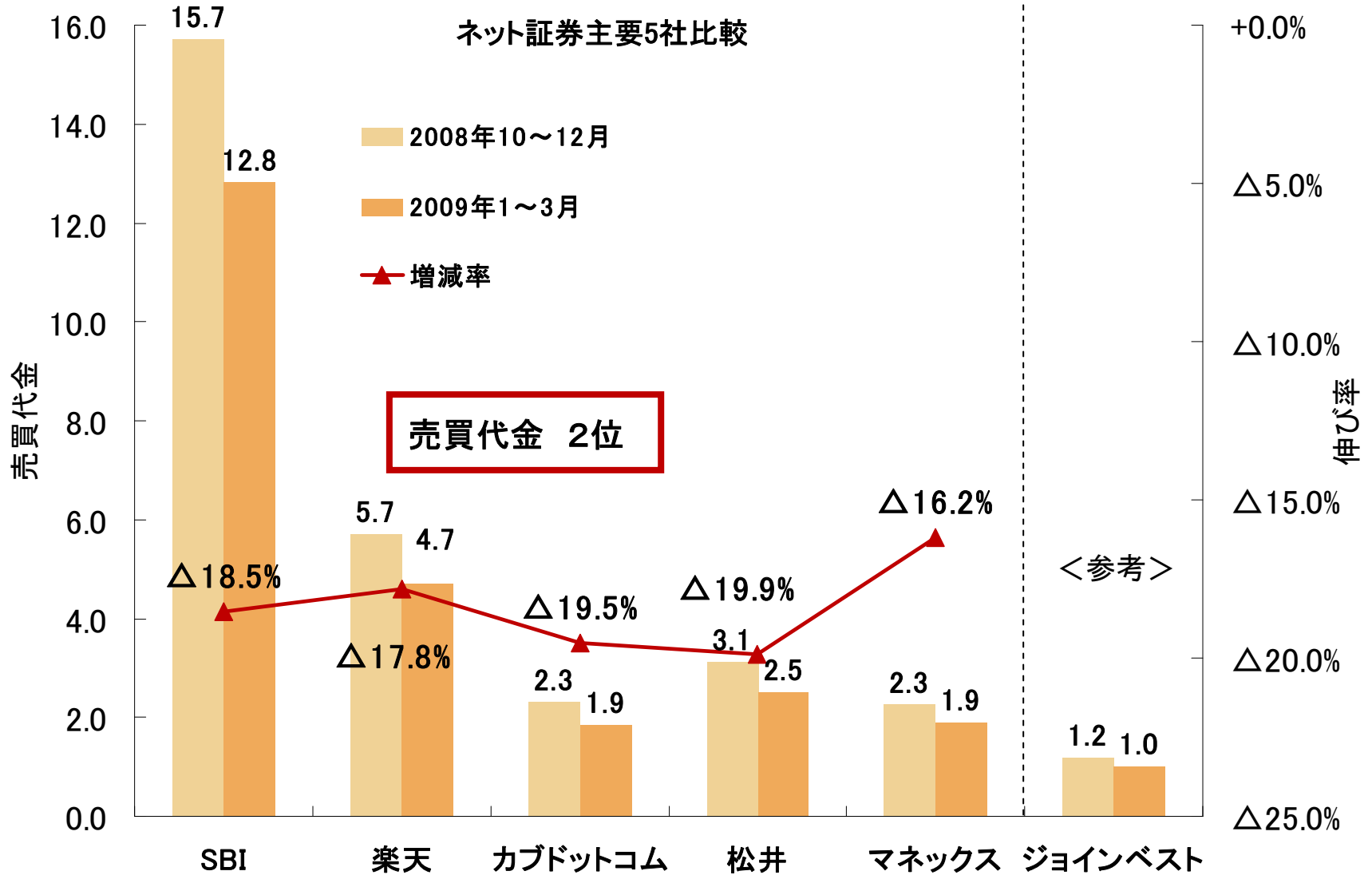
	楽天証券HD				SBI証券	松井証券	カブドットコム証券	マネックス				
			うち 楽天証券単体									
営業収益	23,289	△19%	22,960	△18%	44,223	△18%	26,724	△33%	16,743	△19%	23,813	△22%
販管費	16,614	△16%	15,482	△17%	30,717	+3%	14,521	△9%	8,964	△4%	14,958	+4%
経常利益	3,758	△45%	4,944	△24%	8,257	△57%	9,998	△52%	5,996	△40%	5,091	△60%
同率	16%	△8P	22%	△2P	19%	△17P	37%	△15P	36%	△12P	21%	△20P
当期利益	△3,681	—	3,609	黒字 転換	12,428	+5%	6,921	△46%	3,643	△12%	3,812	△48%

(注)各社業績は松井証券を除き単体ベース

■ 2008/4～2009/3のコスト削減は大きく進捗(年間△32.5億円、△17%)



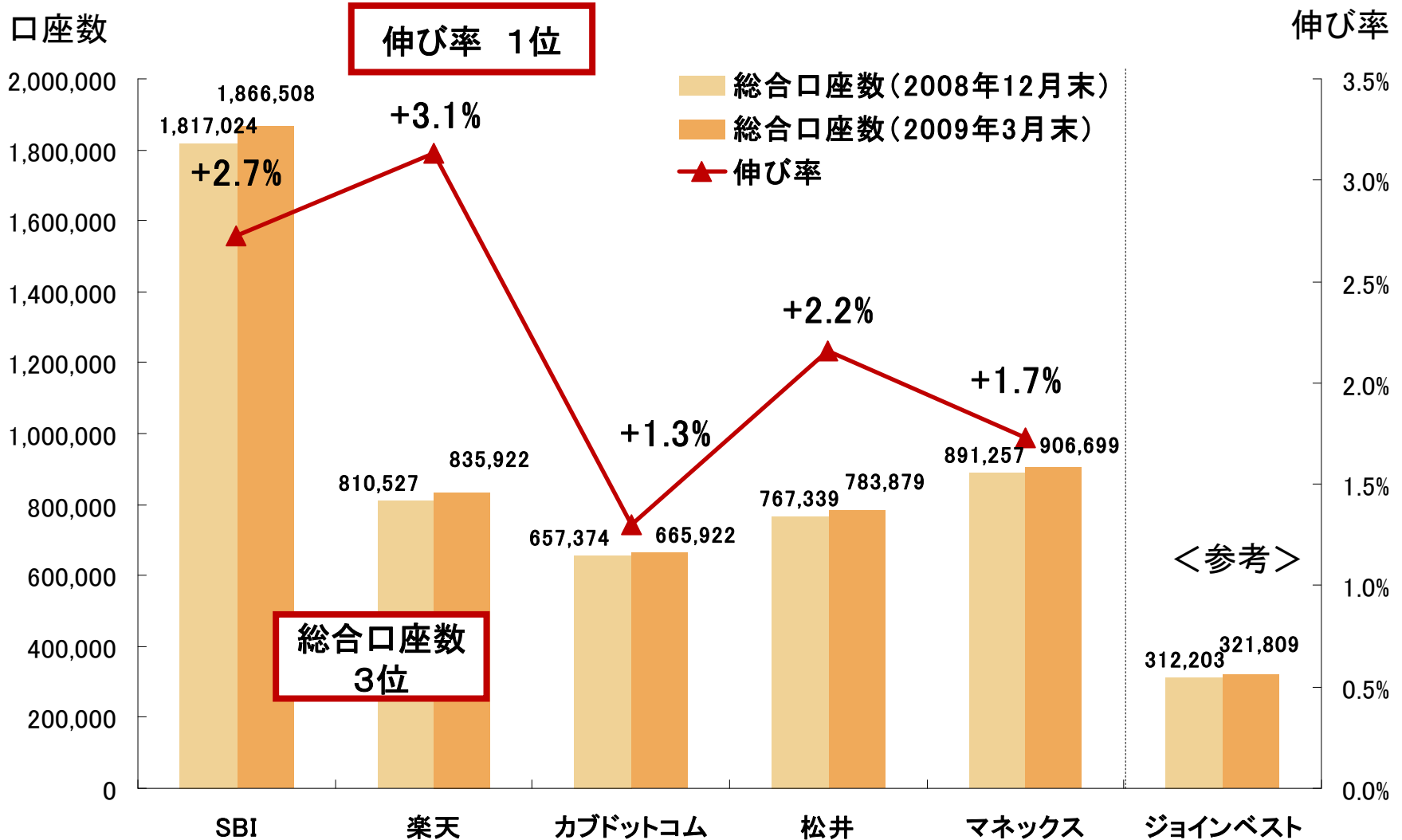
(※1)不動産関係費+事務費+減価償却費、(※2)人件費+租税公課+その他費用



各社のホームページ開示資料より、当社にて計算

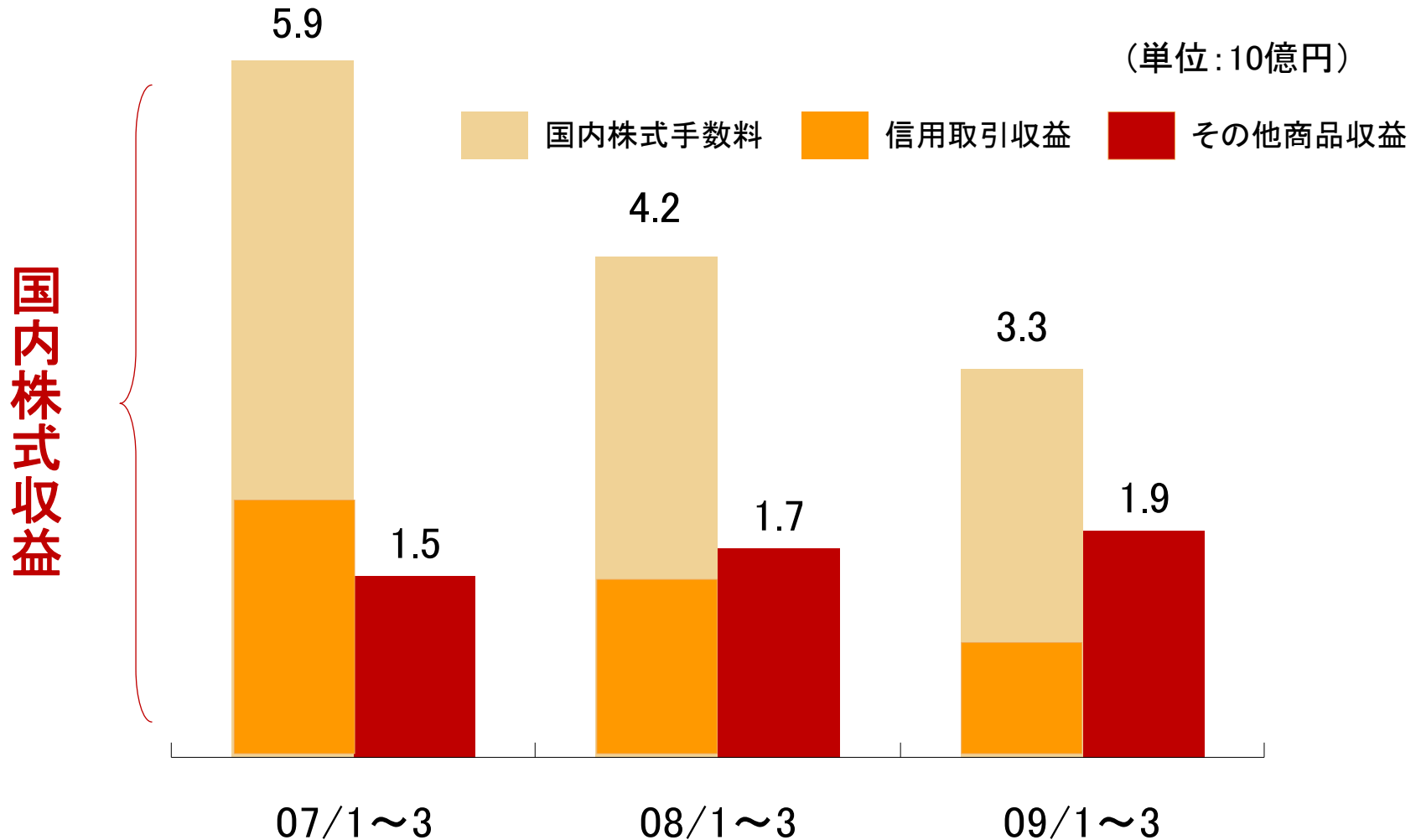
楽天証券 総合口座数の推移

ネット証券主要5社比較

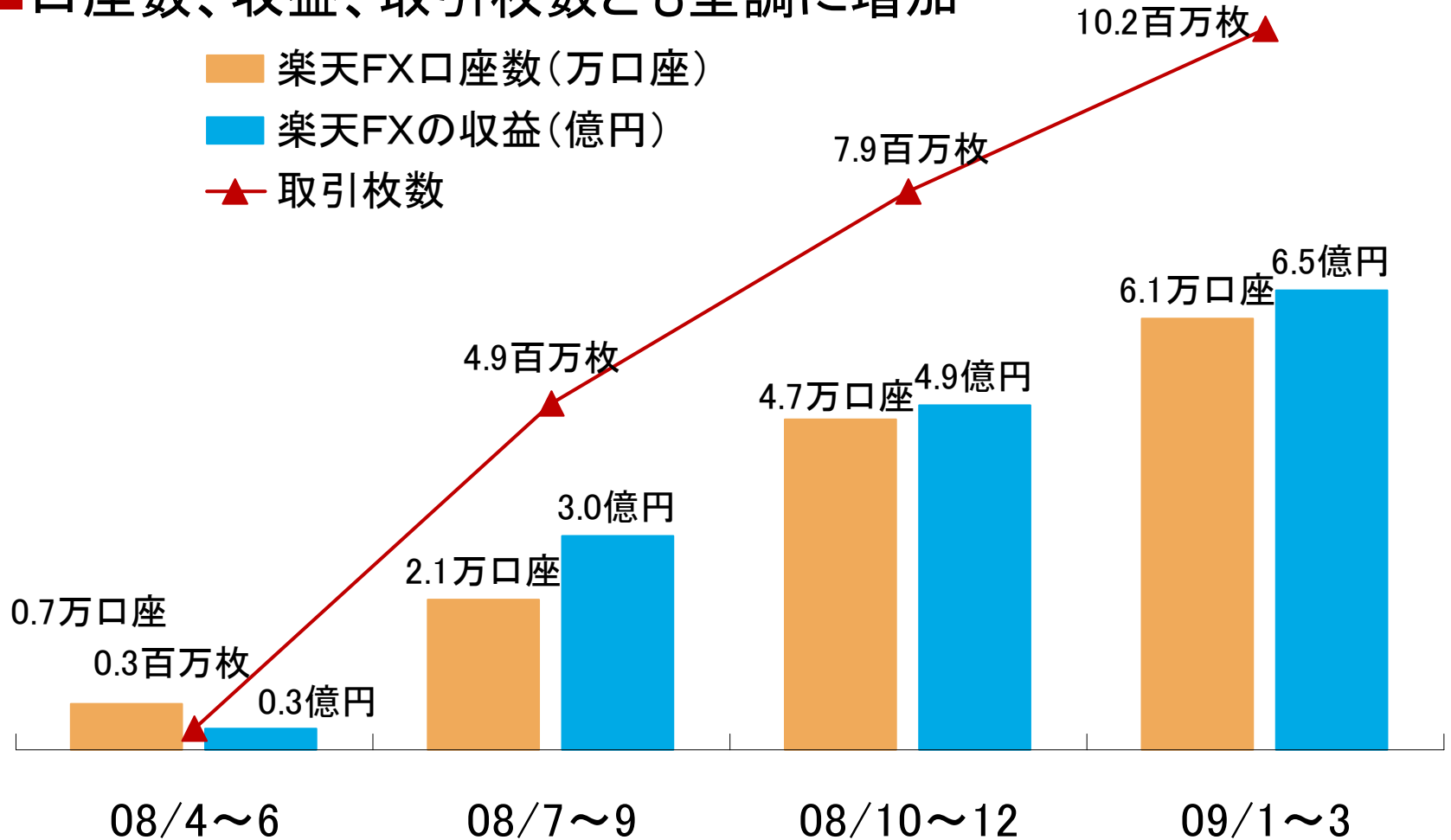


各社のホームページ開示資料より、当社にて計算

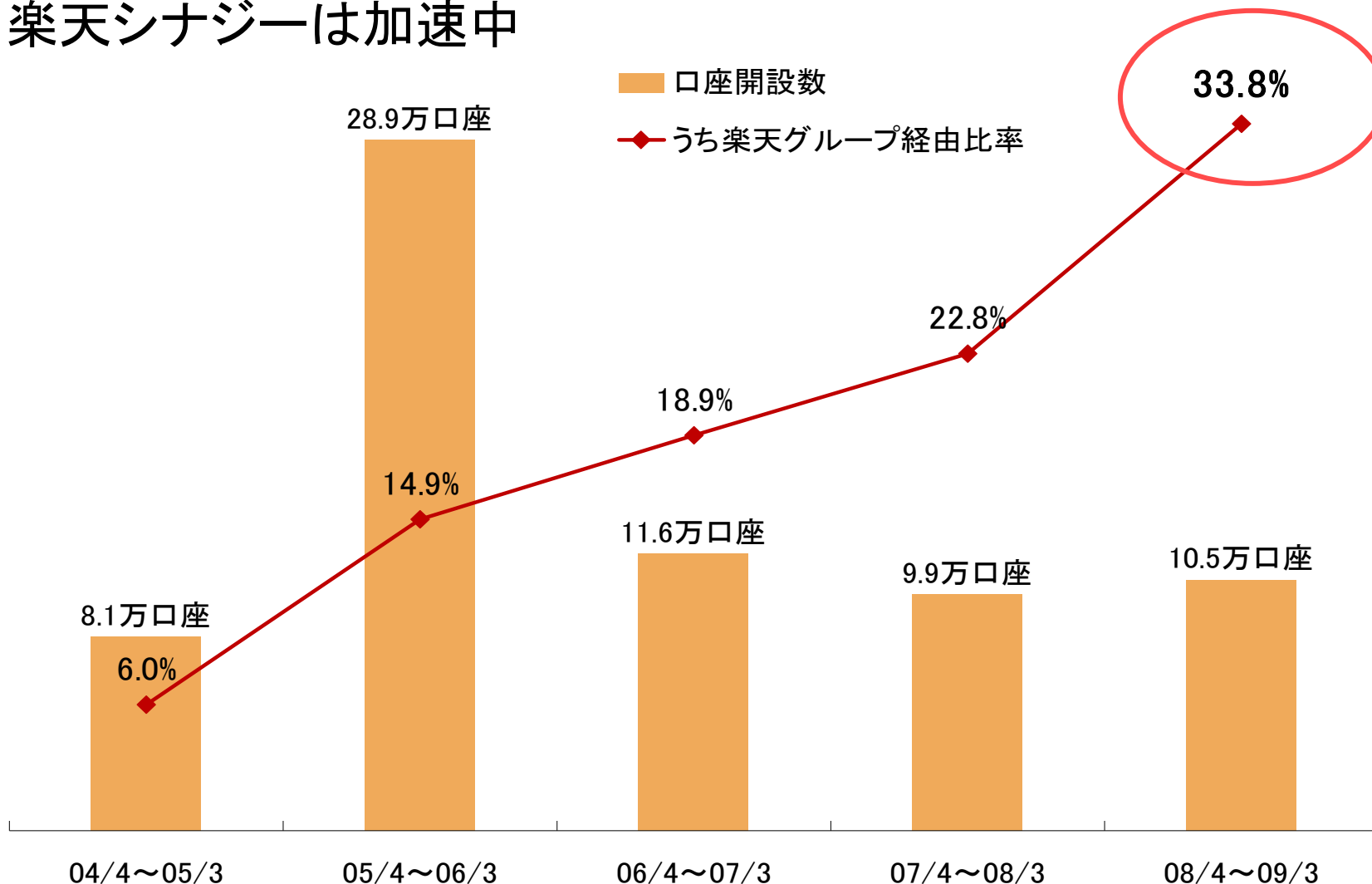
国内株式収益が落ち込む中、その他商品が伸張し、収益を下支え



- 国内株式以外の商品では、『楽天FX』が大きく伸張
- 口座数、収益、取引枚数とも堅調に増加



■ 楽天グループ経由の口座開設比率は33.8%まで伸長し、
楽天シナジーは加速中



【今回】 業務停止命令*・業務改善命令

- システム障害の復旧にかかる態勢整備が不十分
- 大手のネット証券として、過去2回の行政処分にもかかわらず大規模なシステム障害を発生させており、システムを安定的に運用できる態勢整備に向けて一層の取り組みが必要

システム改善計画

推進体制

システム安定化推進委員会およびシステム安定化推進部を設置
(社外の有識者等による牽制機能を有した組織体制で、改善計画を推進)

障害復旧態勢の整備

- 危機管理計画見直し
- 復旧手順の実効性確認
- システム改修計画の策定と実行

システム安定運用態勢の整備

- システム運用・保守体制強化
- データベース運用管理体制強化
- システム外部監査
- 教育研修、品質管理活動継続実施

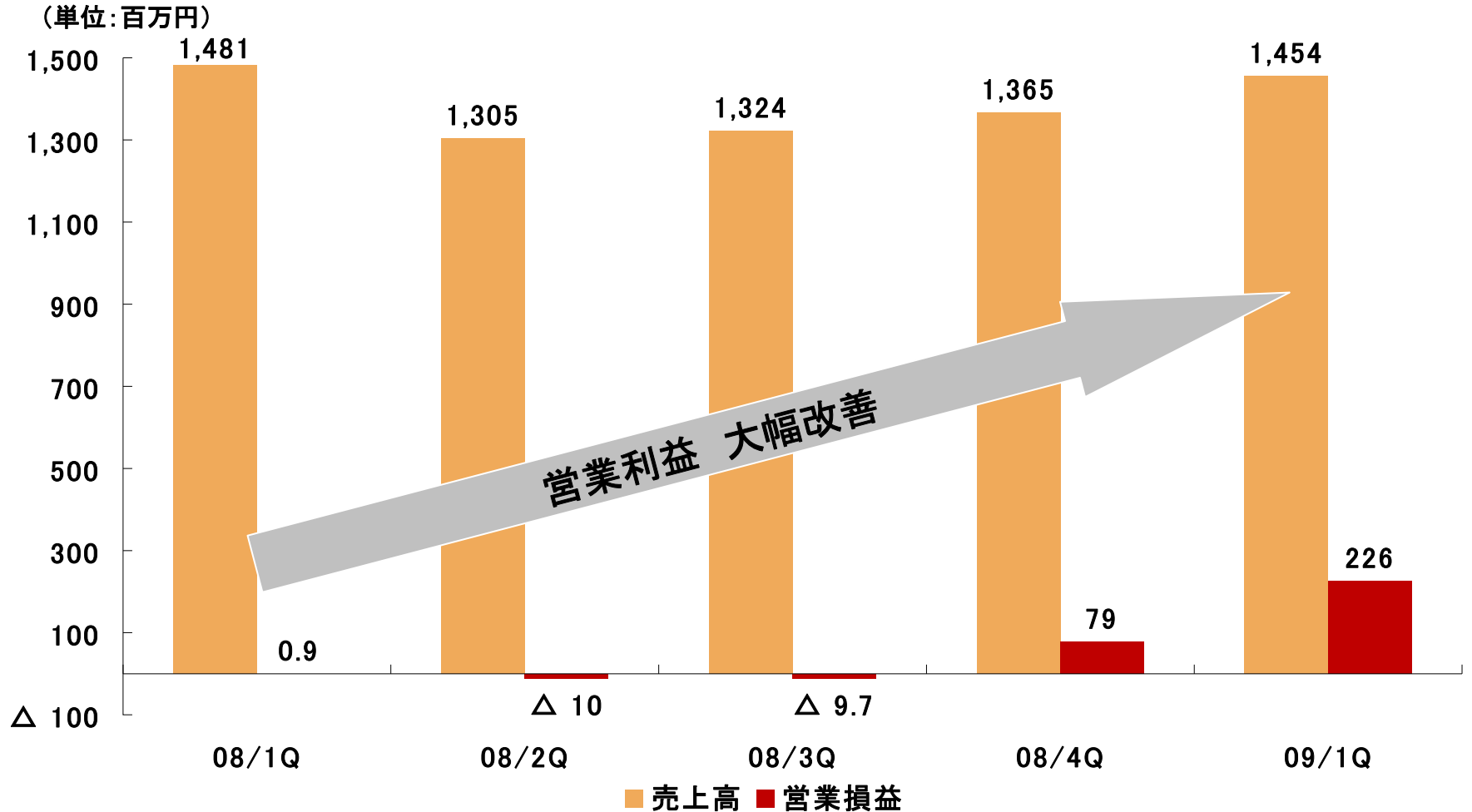
*【業務停止命令】:平成21年4月の1カ月間、システム整備をともなう新たな業務展開の停止
当該処分による業績に与える影響は軽微です

2

-6 インフォシーク事業・広告事業

インフォシーク事業・広告事業等*1 売上高・営業利益の推移

■ 成果報酬型広告を中心に、広告売上が堅調。コスト削減も奏功し、黒字転換



※1. インフォシーク事業BU、広告事業BU及び楽天(株)の人材事業

日本最大級のDBの活用→広告商品の精度向上→転換率の上昇

広告単価の向上

マージンの改善

スーパーDBの情報

購買履歴

700万人以上/四半期

閲覧履歴

日本有数のPV数

属性・住所情報

登録ID5,000万人以上

購買履歴を中心に、全情報

精度の高い
アプローチ

閲覧履歴
登録情報

顧客

見込み客

潜在層

関心

リーチ

56

2 -7 プロスポーツ事業

- 売上高減少(前四半期比)はシーズン開幕が後ろにずれたことによるもの(08年3月2試合消化→09年4月開幕)
- 高価格帯年間シート新設・価格変動型チケットを球界初導入

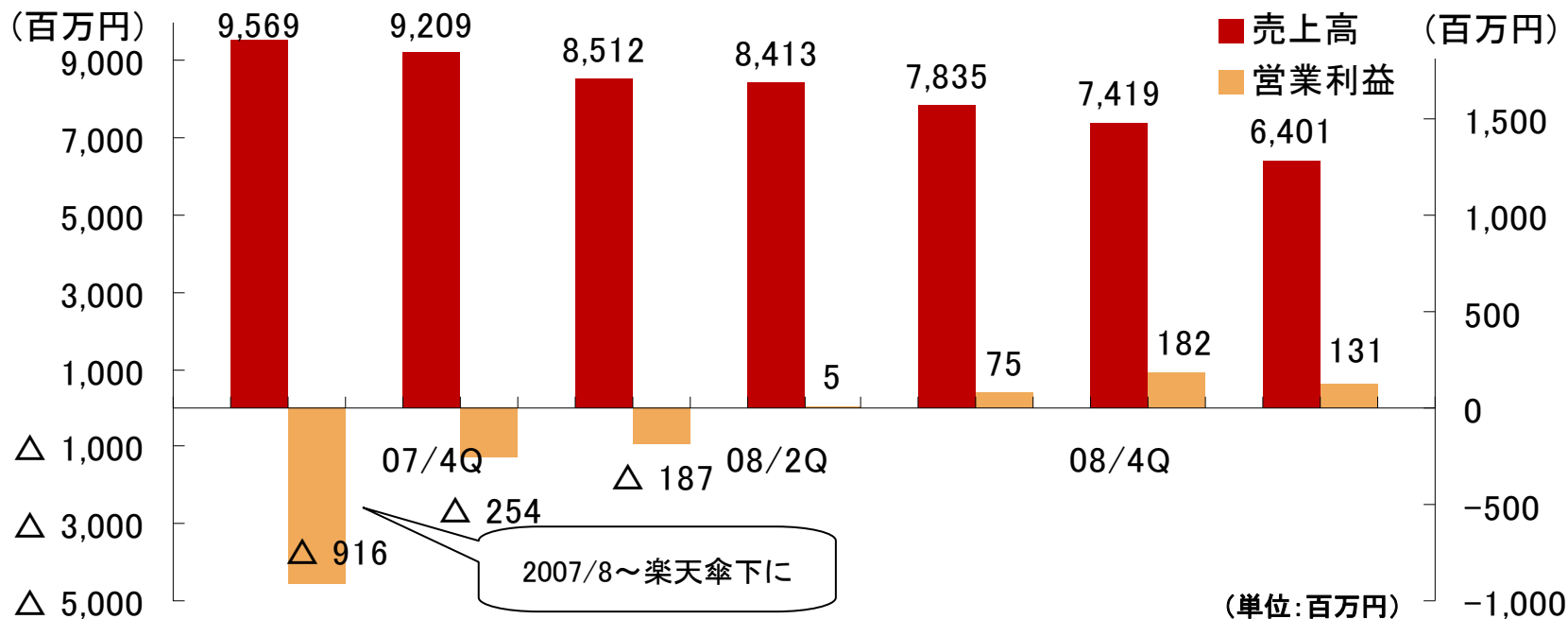
(単位:百万円)

単体 (株)楽天野球団)	2008年度 1Q	2009年度 1Q	増減(%)
売上高	955	742	△22.3%
営業費用	2,032	1,883	△7.3%
営業損益	△1,077	△1,141	—

子会社単純合算 (株)楽天スポーツプロパティーズを含む)	2008年度 1Q	2009年度 1Q	増減(%)
売上高	1,174	924	△21.3%
営業費用	2,246	2,084	△7.2%
営業損益	△1,072	△1,160	—

2 -8 電話事業

■2007年8月の楽天傘下入り後、事業再構築計画の下、業績を改善



	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q
営業費用	10,485	9,462	8,699	8,408	7,761	7,238	6,270
変動費	5,398	5,160	4,611	4,296	4,046	3,792	3,279
固定費	4,252	3,529	3,354	3,384	3,023	2,767	2,331
販管費	835	774	734	728	692	678	660

- 4月15日より『楽天モバイル for Business』サービスを開始
- 固定電話並みの通話料金を移動体通信で実現



『楽天モバイル for Business』は携帯電話の通話料を固定電話並に引き下げることをコンセプトとした、法人企業向け限定のサービスで、フュージョン・コミュニケーションズ及びフュージョンの代理店より販売予定

- ・月額基本使用料2,310円
- ・楽天モバイル、Fusion IP-Phone、ウィルコムPHSへ通話無料
- ・月額最低課金額0円、上限額2,800円(0.084円/パケット)で利用可能なパケット通信
- ・対応端末はWindows Mobileを搭載したスマートフォン2機種、それ以外の端末4機種を用意

3 バランスシートの状況

■ 楽天単体の借入金の
更なる削減へ



■ 過去のM&Aや楽天KCへの転貸のための借入金を早期に大幅な削減を実施予定

■ 外部金融機関からの
借入金の削減



■ 楽天クレジットの外部金融機関からの借入金を削減済み

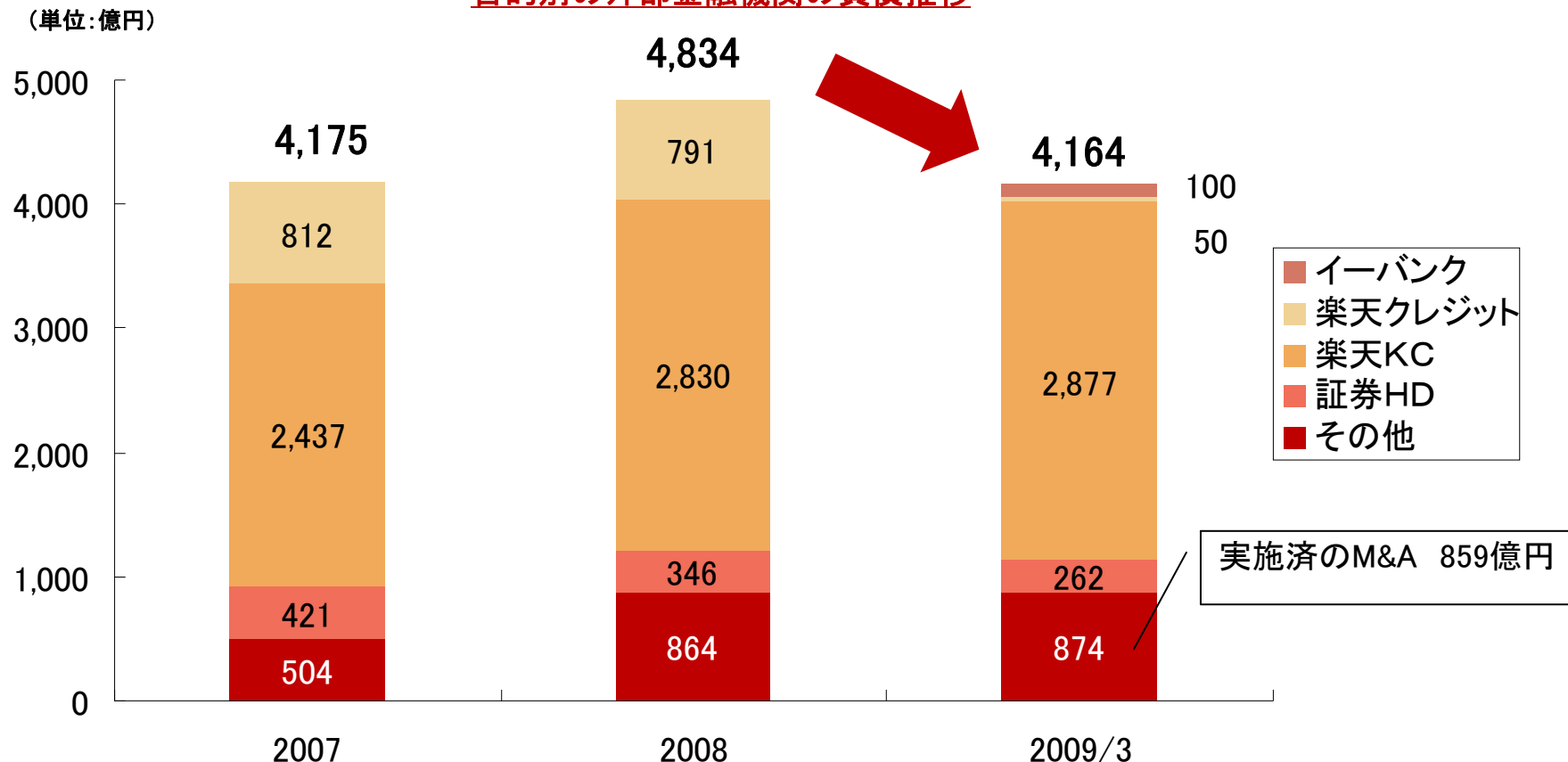
■ 有利子負債/EBITDA
レシオの改善



- 全社の有利子負債／EBITDAレシオは劇的に低下
- 金融を除いたレシオも08年12月末比改善

- 金融事業のポートフォリオの再編によりグループ全体の外部金融機関からの負債削減
- 金融事業の「仕入れ」以外の借入金は今後大幅に削減の見通し

目的別の外部金融機関の負債推移

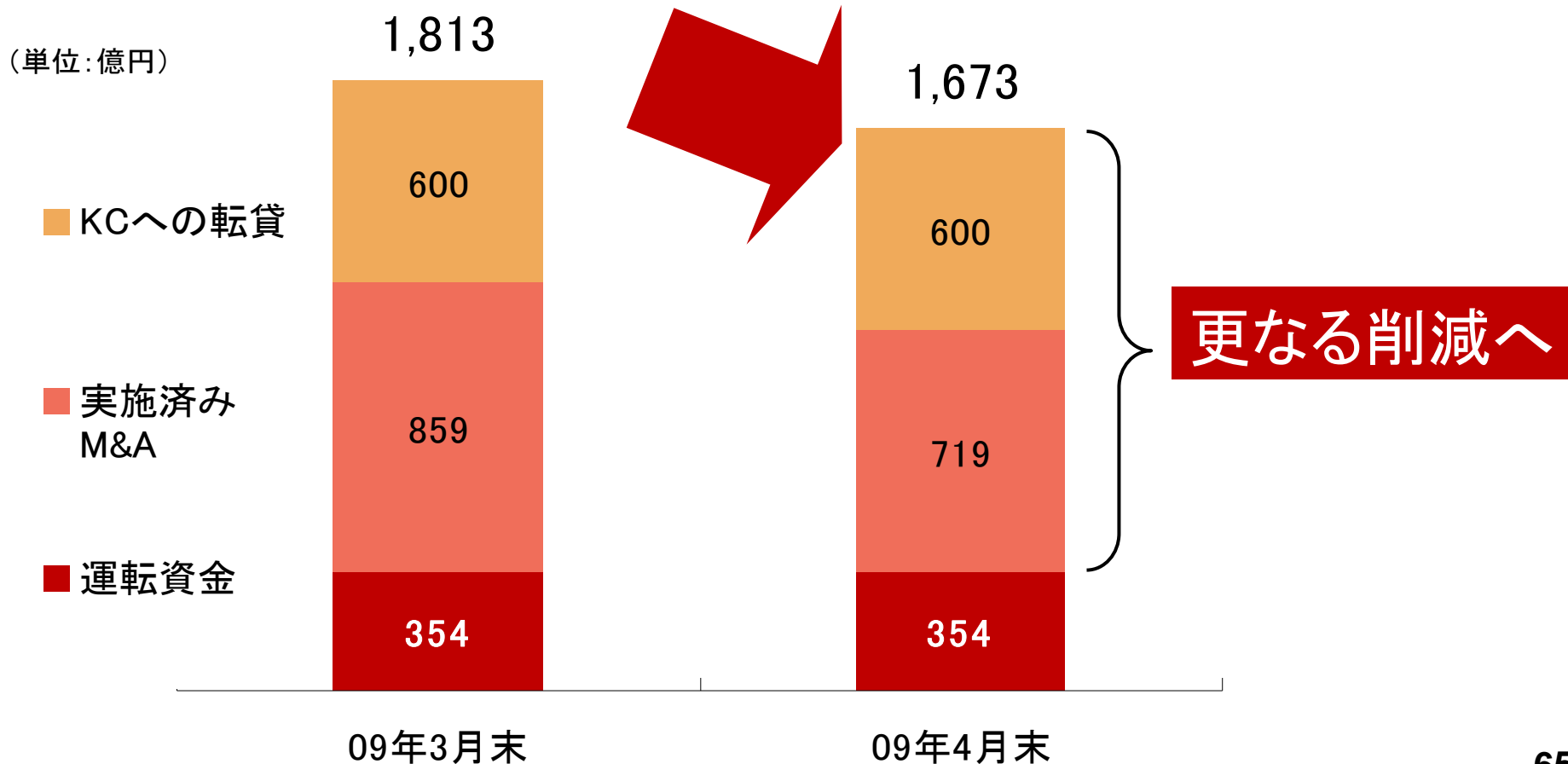


※外部金融機関からの負債＝社債＋CP＋短期借入金＋長期借入金

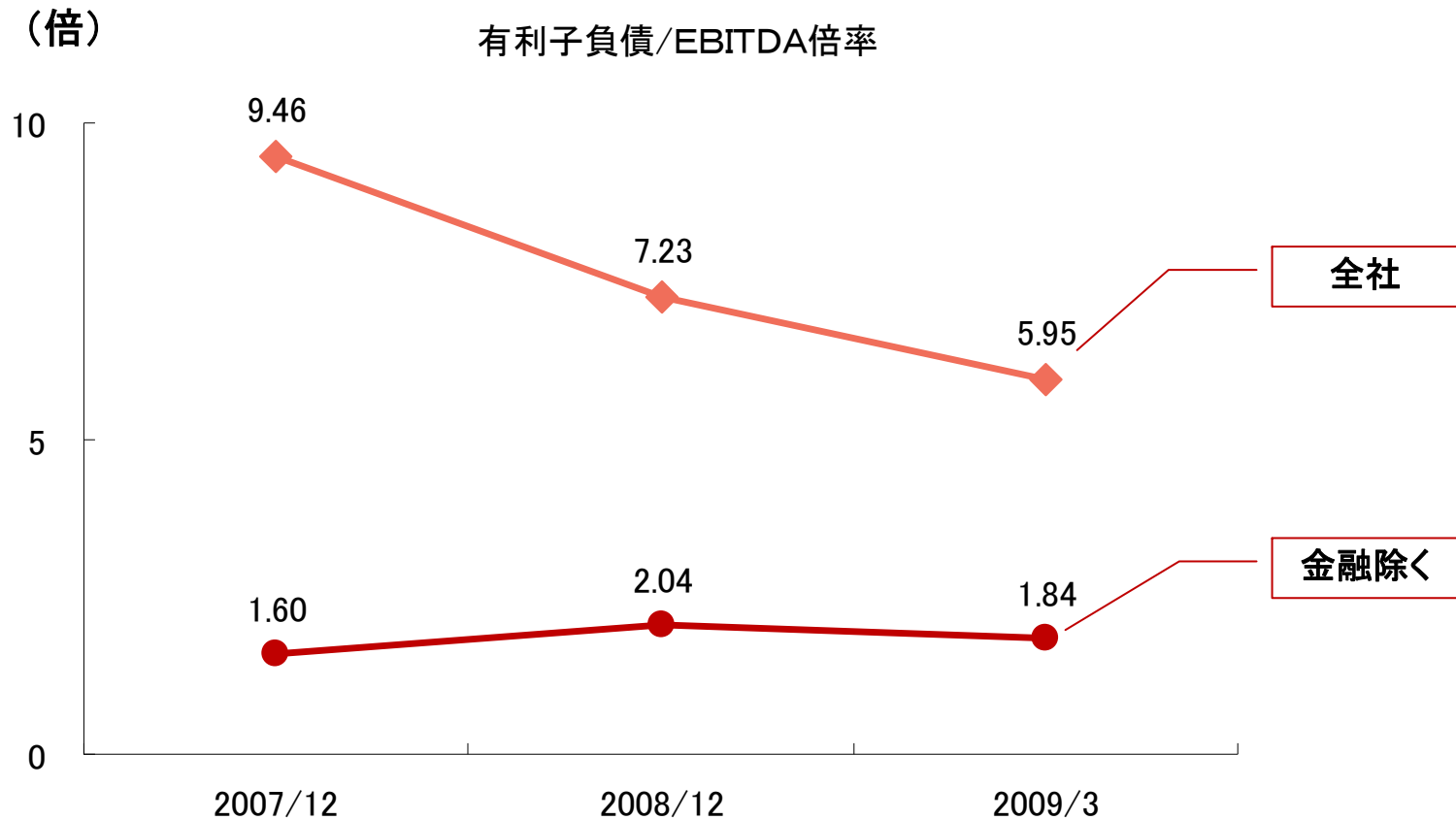
※イーバンク銀行の預金及びイーバンク銀行から楽天クレジットに対する3月末のブリッジローンは除く。

- 楽天単体の借入金は、返済を進め、更なる削減の方向へ
- 返済原資は、営業キャッシュ・フロー、債権流動化(KC)、有価証券売却資金等

楽天(株)の資金使途別の借入金残高



■ 有利子負債/EBITDAは改善が進む

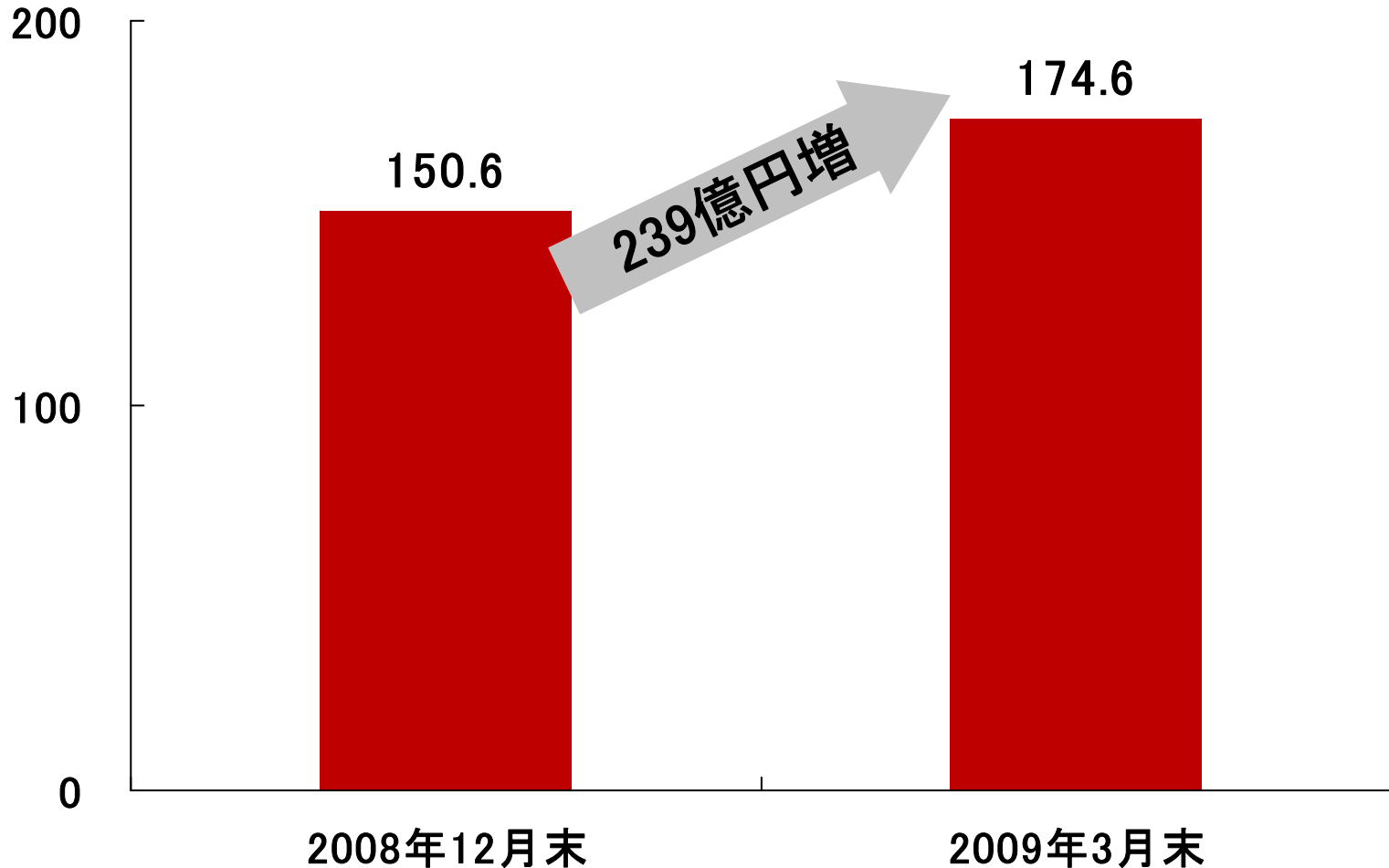


*1: EBITDAは過去12ヶ月累計値を使用

*2: 2007年のEBITDAは利息返還請求に係る一時的な費用約245.2億円を控除した金額を使用

- 税前利益増加及び繰延税金資産計上により、四半期純利益252億円計上
- その結果、株主資本が239億円増加

(単位:十億円)





參考資料

キャッシュ・フローの概要

■ 営業キャッシュ・フローが黒字化。09年通期も繰延税金資産活用で黒字見通し

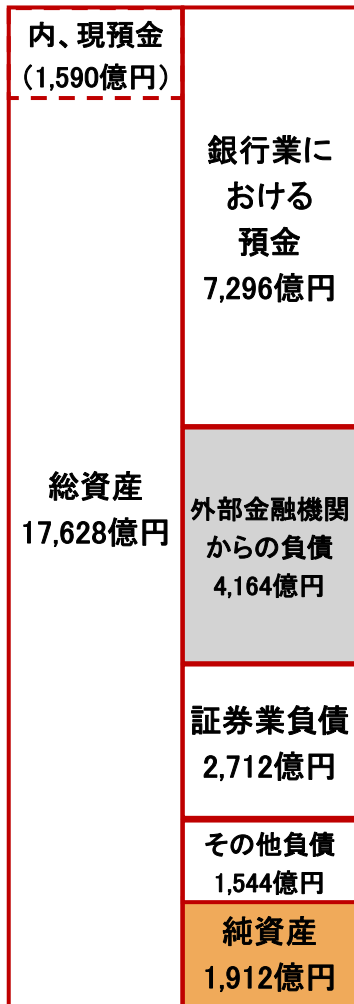
(単位: 億円)

2009年1月～3月 キャッシュ・フローの概要			
非金融事業の営業キャッシュ・フロー(概算)	税前損益	72	営業CF: +29億円 非金融営業CF: +36億円 前期に係る法人税等の負担大もEC事業等の利益創出により安定的に黒字化
	減価償却費及びのれん償却費	27	
	その他営業キャッシュ・フロー	43	
	法人税等	-107	
	非金融事業の営業キャッシュ・フロー(概算)	36	
金融事業の営業キャッシュ・フロー(概算)	税前損益	-9	金融営業CF: △7億円 イーバンク銀行の貢献により、赤字が縮小傾向に
	減価償却費及びのれん償却費	19	
	銀行業における主な営業キャッシュ・フロー	132	
	証券業における主な営業キャッシュ・フロー	5	
	その他金融事業における主な営業キャッシュ・フロー	-155	
金融事業の営業キャッシュ・フロー(概算)	-7		
営業キャッシュ・フロー		29	
投資キャッシュ・フロー	銀行業における有価証券の取得・売却・償還	1,205	投資CF: 1,149億円 主にイーバンク銀行での国債の売却・償還
	その他投資キャッシュ・フロー	-56	
投資キャッシュ・フロー		1,149	
財務キャッシュ・フロー	非金融事業の財務キャッシュ・フロー(概算)	116	財務CF: △788億円 主に楽天クレジットでの借入金返済
	金融事業の財務キャッシュ・フロー(概算)	-905	
財務キャッシュ・フロー		-788	
現金及び現金同等物の期首		812	投資CFの大幅改善及び連結範囲の変更により、現金及び現金同等物は740億円増
連結範囲変更による現金の増減額		350	
現金及び現金同等物の期末残高		1,553	

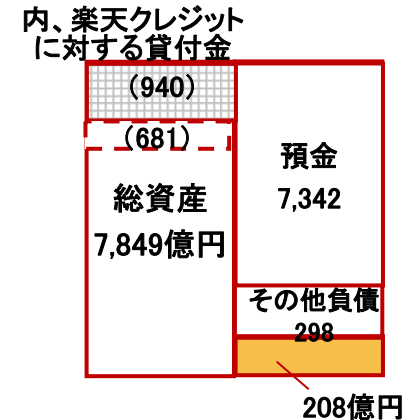
※金融／非金融の区分は、内部消去を考慮しない単純合算を用いた概算値

楽天グループのバランスシート概要(2009年3月末)

楽天(連結)

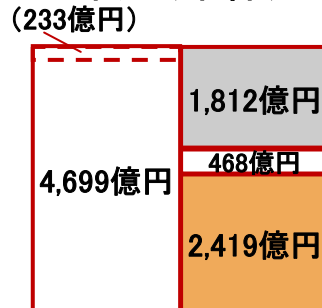


イーバンク(連結)

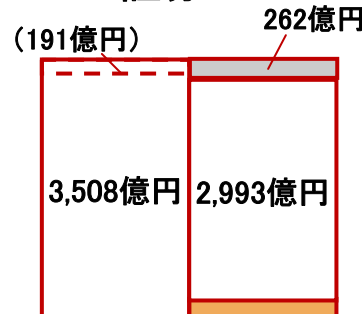


※楽天KCの借入金の内
700億円は楽天から

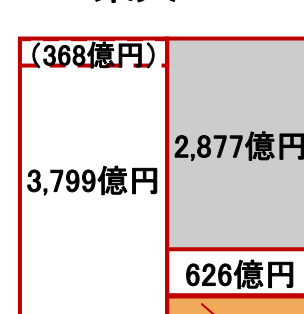
楽天(単体)



証券HD

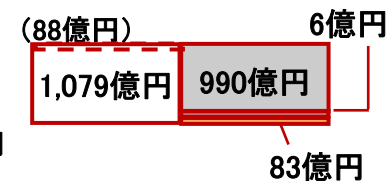


楽天KC



※楽天クレジットの借入金の内
940億円はイーバンク銀行から

楽天クレジット



※楽天(単体)、証券HD、楽天KC、楽天クレジット・イーバンクは連結消去前の数字をベースにしたもので、グループ内取引を含む

※外部金融機関からの負債 = 社債 + CP + 短期借入金 + 長期借入金

■ 2009年3月末に楽天クレジットのイーバンク銀行からの借入金は事業統合と共に消滅

(単位: 億円)

イーバンク銀行 (2009年3月末)

楽天クレジットに対する貸付金 940	銀行業における 預金残高 7,342
総資産 7,849	
その他負債 298	
純資産 208	

楽天クレジット (2009年3月末)

総資産 1,079 (内 営業貸付金 957)	借入金990 (内 イーバンク銀行からの借入940)	その他 負債6
純資産 83		

統合後イーバンク銀行 (2009年4月1日現在)

営業貸付金 (個人ローン) 923	銀行業における 預金残高 7,342
総資産 7,899	
純資産 258	

(吸収分割)

新・楽天クレジット

総資産	負債
	純資産

貸借対照表(2009年3月31日)

単位: 億円・未満切捨て

流動資産	1,046	流動負債	995
現金・預金	88	短期借入金	990
営業貸付金	957	その他流動負債	5
その他流動資産	9		
貸倒引当金	△ 9	固定負債	0
		その他固定負債	0
固定資産	32	負債合計	996
有形固定資産	1	株主資本	83
無形固定資産	8	資本金	44
投資その他	23	資本剰余金	34
(内 貸倒引当金)	(△ 18)	利益剰余金	4
		評価・換算差額等	0
		純資産合計	83
資産合計	1,079	負債・純資産合計	1,079

貸借対照表(2009年3月31日)

単位:億円・未満切捨て

流動資産	3,344	流動負債	1,807
現金・預金	368	信用保証買掛金	33
割賦売掛金	2,292	短期借入金	1,331
信用保証売掛金	33	その他流動負債	442
流動化受益債権	695		
その他流動資産	283	固定負債	1,694
貸倒引当金	△ 329	長期借入金	1,546
		利息返還損失引当金	138
		その他固定負債	9
固定資産	454	負債合計	3,502
有形固定資産	127	株主資本	300
土地・建物	121	資本金	30
その他固定資産	6	資本剰余金	411
無形固定資産	28	利益剰余金	16
投資その他	318	自己株式	△ 157
貸倒引当金	△ 20	評価・換算差額等	△ 3
		純資産合計	296
資産合計	3,799	負債・資本合計	3,799

注)割賦売掛金の債権流動化残高:767億円

貸借対照表 (2009年3月31日現在)

損益計算書
(2009年1月1日～2009年3月31日)

単位:億円・未満切捨て

流動資産	712	流動負債	1,165
現金及び預金	233	買掛金	21
売掛金	202	短期借入金	658
その他の流動資産	279	未払金	94
貸倒引当金	△ 1	未払法人税等	35
		前受金	39
		ポイント引当金	73
		その他の流動負債	243
		固定負債	1,114
		負債合計	2,280
固定資産	4,022	株主資本	2,460
有形固定資産	51	資本金	1,075
無形固定資産	103	資本剰余金	1,131
投資その他の資産	3,867	利益剰余金	254
(内 貸倒引当金)	△ 6	自己株式	0
(内 投資損失引当金)	△ 20	評価・換算差額等	△ 9
		その他有価証券評価差額金	△ 9
		純資産合計	2,454
資産合計	4,735	負債純資産合計	4,735

単位:億円・未満切捨て

売上高	250
売上原価	49
売上総利益	201
販売費及び一般管理費	118
人件費	44
広告宣伝費／販売促進費	30
減価償却費	11
通信費／保守費	9
委託費／外注費	14
その他	7
営業利益	83
営業外収益	8
営業外費用	8
経常利益	82
特別利益	1
特別損失	7
税引前当期純損益	77
法人税、住民税及び事業税	35
法人税等調整額	△ 211
当期純損益	254

EC事業
楽天市場*2
ビジネスサービス *2
ゴルフ *2
オート *2
デリバリー *2
パッケージメディア
メディアレンタル
オークション
ダイニング
チケット
パフォーマンスマーケティング (LinkShare, Inc.)
競馬モール
物流*2
国際市場
ネットスーパー*3
チェックアウト*2,4

クレジットカード事業*5
KC

銀行事業*5
銀行(イーバンク銀行(株))*5
パーソナルファイナンス (楽天クレジット(株))
バンキング(東京都民銀行との提携)*7

ポータル・メディア事業
インフォシーク
広告
ADソリューション
ブログ
リサーチ
人材
マリッジ*3((株)オーネット)
写真館*4
コンテンツ*6

トラベル事業
トラベル

証券事業
証券
投資
モーゲージ*8
保険

プロスポーツ事業
プロスポーツ

通信事業
電話(フュージョン・コミュニケーションズ)

- ※1. 一部の新規事業を除く、2009年3月末
- ※2. 楽天(株)のEC事業
- ※3. 2008/3Qより持分法からフル連結へ
- ※4. 2008/3Qよりサービス開始
- ※5 2009/1Qよりイーバンク銀行の連結開始に伴い、銀行事業を新設し、クレジット・ペイメント事業の一部を銀行事業に組み入れ。再区分後、クレジットカード事業に名称変更
- ※6 2009/1Q末より(株)ショウタイムが持分法からフル連結へ
- ※7 2009/1Qに廃止
- ※8 2009/2Qよりイーバンクに統合

のれん償却費の内訳

(単位:百万円)

	07/1Q	07/2Q	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	主な対象会社
EC事業	527	527	542	532	537	538	542	541	542	リンクシェア
クレジット・ペイメント事業	234	234	234	234	246	245	245	245	-	楽天KCグループ
カード事業	-	-	-	-	-	-	-	-	246	楽天KCグループ
銀行事業	-	-	-	-	-	-	-	-	175	イーバンク銀行
ポータル・メディア事業	17	17	17	17	16	17	17	61	44	楽天リサーチ、オーネット
トラベル事業	10	10	10	10	11	11	12	12	12	楽天トラベル 楽天バスサービス
証券事業	56	76	76	80	80	80	84	95	95	楽天証券 楽天証券ホールディングス 楽天リアルティマネジメント 楽天ストラテジックパートナーズ
プロスポーツ事業	-	-	-	-	-	-	-	△0	△0	-
通信事業	-	-	-	△5	△5	△5	△5	△4	△4	フュージョン・コミュニケーションズ
連結	845	865	880	870	888	888	897	952	1,111	

※連結財務諸表上は販売費および一般管理費に含む

(単位: 億円)

		2007年				2008年				2009年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
単体	ハードウェア	2.0	5.6	16.8	10.6	5.5	1.4	1.9	2.5	1.4
	ソフトウェア	5.6	10.4	7.9	14.6	13.8	11.6	11.1	9.3	6.3
	合計	7.7	16.0	24.7	25.2	19.4	13.1	13.0	11.9	7.7
連結	ハードウェア	6.3	9.1	20.5	12.6	20.6	4.2	4.2	6.7	9.9
	ソフトウェア	19.8	20.3	42.5	44.7	45.6	24.2	19.6	21.4	26.9
	合計	26.1	29.4	63.0	60.3	66.2	28.4	23.9	28.1	36.8

※稼働ベース

※楽天野球団、ファンド除くベース

損益計算書 概要

単位：億円、未満切捨て

	2008(1-3) 前年同四半期	2008(10-12) 前四半期	2009(1-3) 当四半期
営業収益	140	146	142
営業費用	108	108	131
販売費及び一般管理費	91	90	109
金融費用	17	17	21
営業利益	32	38	11
営業外損益	0	0	0
経常利益	32	38	11
特別損益	△ 5	△ 34	△ 7
税引前純利益	26	3	3
法人税等調整額	5	20	△ 8
四半期純損益	20	△ 17	12
流動化影響前の経常利益	41	46	19

単位:百万円

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q		
					実績	構成比	前年同四半期比
営業収益							
総合あっせん	2,795	3,186	3,527	3,988	4,179	27.9%	49.5%
カードショッピング	2,703	3,108	3,466	3,940	4,138	27.6%	53.1%
その他	91	78	61	48	41	0.3%	△ 54.9%
融資	10,478	9,993	9,498	8,995	8,306	55.4%	△ 20.7%
カードキャッシング	(9,570)	(8,961)	(8,568)	(8,196)	(7,573)	50.5%	△ 20.9%
ローンカード	6,460	6,200	5,730	5,545	5,144	34.3%	△ 20.4%
その他融資	(5,797)	(5,386)	(5,028)	(4,847)	(4,502)	30.0%	△ 22.3%
ローンカード	3,965	3,744	3,722	3,394	3,121	20.8%	△ 21.3%
その他融資	(3,719)	(3,525)	(3,493)	(3,293)	(3,031)	20.2%	△ 18.5%
その他融資	52	48	46	55	39	0.3%	△ 25.0%
個品あっせん	1	1	1	1	0	0.0%	△ 100.0%
信用保証	348	314	301	292	279	1.9%	△ 19.8%
その他	1,391	1,379	1,736	2,164	2,230	14.9%	60.3%
金融収益	△ 7	102	12	△ 15	8	0.1%	△ 214.3%
営業収益合計	15,006	14,976	15,077	15,426	15,005	100.0%	△ 0.0%
	(14,098)	(13,944)	(14,147)	(14,627)	(14,271)	95.1%	1.2%
営業費用							
人件費	1,299	1,446	1,440	1,457	1,464	11.2%	12.7%
一般経費	4,954	4,880	5,029	5,848	6,142	46.8%	24.0%
金融費用	1,719	1,450	1,613	1,720	2,175	16.6%	26.5%
貸倒関連費用	2,870	3,369	3,526	1,784	3,347	25.5%	16.6%
利息返還関連費用	0	0	0	0	0	-	-
キャッシュアウト分	0	0	0	0	0	-	-
債権充当分	0	0	0	0	0	-	-
営業費用合計	10,843	11,146	11,609	10,811	13,129	100.0%	21.1%
営業利益	3,255	2,798	2,538	3,816	1,142	-	△ 64.9%

※()は流動化時価評価損益を含めた営業収益＝会計上数値

■取扱高内訳

単位:百万円

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q		
					実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	105,487	116,245	124,414	139,863	140,415	85.4%	33.1%
カードショッピング	104,208	115,312	123,720	139,280	139,859	85.1%	34.2%
その他	1,279	932	693	583	555	0.3%	△ 56.6%
融資	25,377	23,606	23,262	22,231	21,147	12.9%	△ 16.7%
カードキャッシング	17,171	16,235	16,058	15,434	14,782	9.0%	△ 13.9%
ローンカード	8,206	7,371	7,203	6,796	6,364	3.9%	△ 22.4%
個品あっせん	15	14	9	12	11	0.0%	△ 26.7%
信用保証	1,008	962	1,339	2,138	1,189	0.7%	18.0%
その他	1,752	1,697	1,723	1,397	1,677	1.0%	△ 4.3%
取扱高合計	133,641	142,525	150,749	165,642	164,440	100.0%	23.0%

■カード有効会員数

単位:万人

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	
					実績	前年同四半期比
クレジットカード	313	326	344	369	385	23.0%
ローンカード	42	41	40	39	38	△ 9.5%

単位：百万円

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q		
					実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	70,112	77,947	82,123	96,038	97,522	27.5%	39.1%
カードショッピング	66,033	74,604	79,459	93,884	95,755	27.0%	45.0%
カードショッピングリボ(元本)	22,661	27,238	32,789	38,981	44,067	12.4%	94.5%
その他	4,079	3,342	2,663	2,154	1,767	0.5%	△ 56.7%
融資	243,267	235,244	228,565	220,676	211,111	59.6%	△ 13.2%
カードキャッシング	111,503	107,524	104,036	98,862	95,546	27.0%	△ 14.3%
(内、オフバランス流動化債権)	(88,493)	(84,967)	(82,153)	(78,227)	(48,804)	13.8%	△ 44.8%
ローンカード	94,023	89,414	85,163	80,359	76,353	21.5%	△ 18.8%
(内、オフバランス流動化債権)	(75,271)	(70,804)	(29,076)	(27,859)	(27,912)	7.9%	△ 62.9%
(内、オンバランス流動化債権)	(0)	(0)	(0)	(0)	(26,906)	7.6%	—
その他融資	37,741	38,305	39,365	41,453	39,210	11.1%	3.9%
個品あっせん	1,315	1,280	1,264	1,225	1,193	0.3%	△ 9.3%
信用保証	44,457	42,579	41,340	39,821	38,613	10.9%	△ 13.1%
(内、オフバランス)	(40,094)	(38,542)	(37,569)	(36,270)	(35,276)	10.0%	△ 12.0%
その他(オフバランス)	12,773	10,695	8,850	7,247	5,895	1.7%	△ 53.8%
営業債権残高合計(オフバランス含む)	371,927	367,747	362,144	365,009	354,336	100.0%	△ 4.7%
(貸借対照表表示残高)	155,294	162,737	204,495	215,403	236,447	66.7%	52.3%

流込残高

■ 当月未収の継続的圧縮により早期回収力が向上、中年齢流込残高も継続的に改善

単位：百万円

	08/1Q			09/1Q			前年同四半期比		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
当月未収	5,424	4,482	5,107	4,324	3,952	4,585	△ 1,100	△ 530	△ 522
未収1→2	3,246	2,995	3,079	3,036	2,908	3,115	△ 210	△ 87	36
未収2→3	3,115	2,815	2,717	2,623	2,576	2,548	△ 492	△ 239	△ 169
未収3→4	2,796	2,633	2,509	2,522	2,305	2,324	△ 274	△ 328	△ 185

※ 当月未収・・・請求時に口座から引落としができなかった契約の残高。そのまま一ヶ月経過すれば未収1となる。

■ 利息返還請求に関する引当金は足下の損失額の2.6年分*2

(単位:億円)

科目	備考	08/3末	08/6末	08/9末	08/12末	09/3末
利息返還損失引当金	過払い返還請求に伴う「キャッシュアウト分」	189	178	165	153	138
	過払い返還請求に伴う「債権充当分」	170	161	151	140	129
	上記以外の貸倒引当金	259	251	244	223	220
貸倒引当金 計		430	412	395	364	349
利息返還損失引当金+貸倒引当金		619	590	560	517	487

過払い関連引当金
268億円

2.6年分*2

過払い返還請求に伴う損失実額*1

(単位:百万円)

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q
キャッシュアウト額	1,079	1,187	1,234	1,209	1,466
債権充当額	944	975	970	1,083	1,091
利息返還実績 計	2,024	2,162	2,204	2,294	2,557

*1: 08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、費用計上はゼロ

*2: 過払い関連の引当金 ÷ (直近の過払い返還請求に伴う損失額 × 4)

(単位:百万円)

	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3
破綻先		43	21	18	16	15	16
実質破綻先		31,058	35,727	37,519	37,810	35,336	35,568
破綻懸念先		13,740	11,743	11,006	10,639	8,820	8,362
要注意先		7,147	6,991	6,946	6,373	5,464	6,116
正常先		287,979	275,119	271,510	267,521	273,318	266,613
小計		339,967	329,601	326,999	322,359	322,953	316,675
有担保		6,520	6,370	6,237	6,091	5,948	5,789
合計		346,487	335,971	333,236	328,450	328,901	322,464

貸倒引当率		12.97%	12.80%	12.39%	12.05%	11.07%	10.85%
-------	--	--------	--------	--------	--------	--------	--------

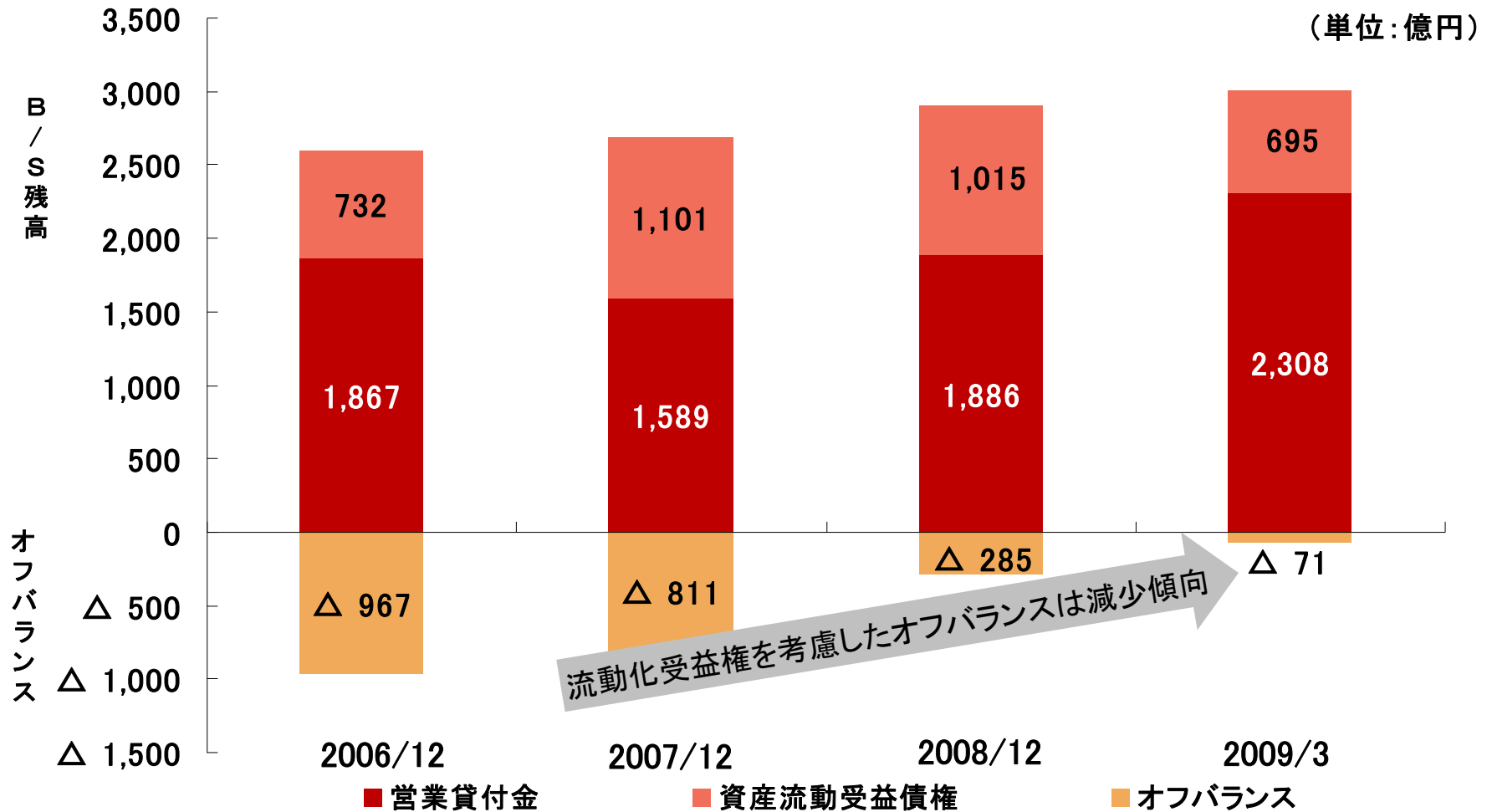
貸倒引当金	33,144	44,933	43,004	41,282	39,583	36,403	34,980
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

08年12月末:債権売却に伴う引当金減少額 約6億円(08年9月末比)

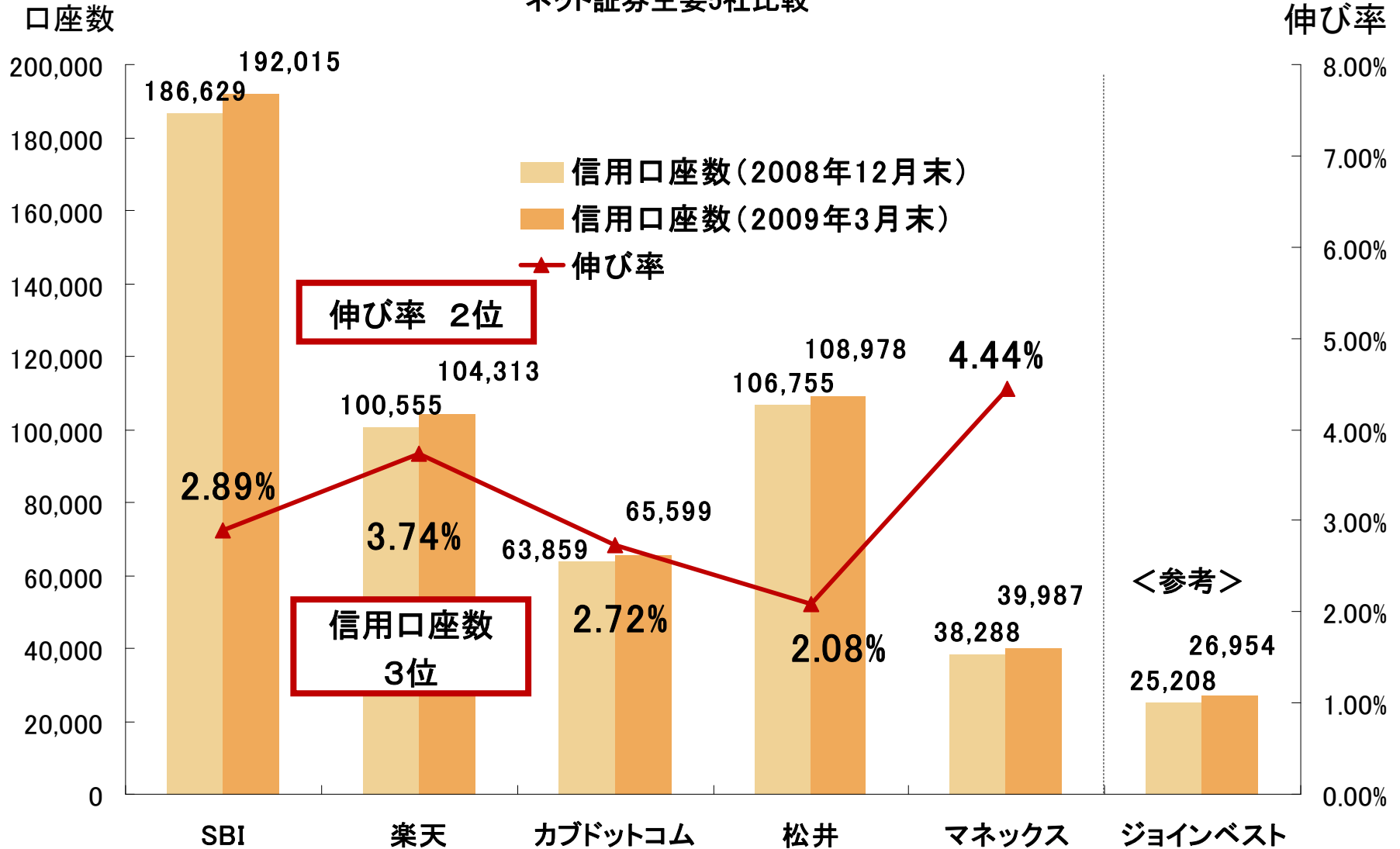
貸倒償却率		1.75%	1.43%	1.53%	1.59%	1.51%	1.48%
-------	--	-------	-------	-------	-------	-------	-------

貸倒関連費用		17,844	2,871	3,370	3,526	1,784	3,347
--------	--	--------	-------	-------	-------	-------	-------

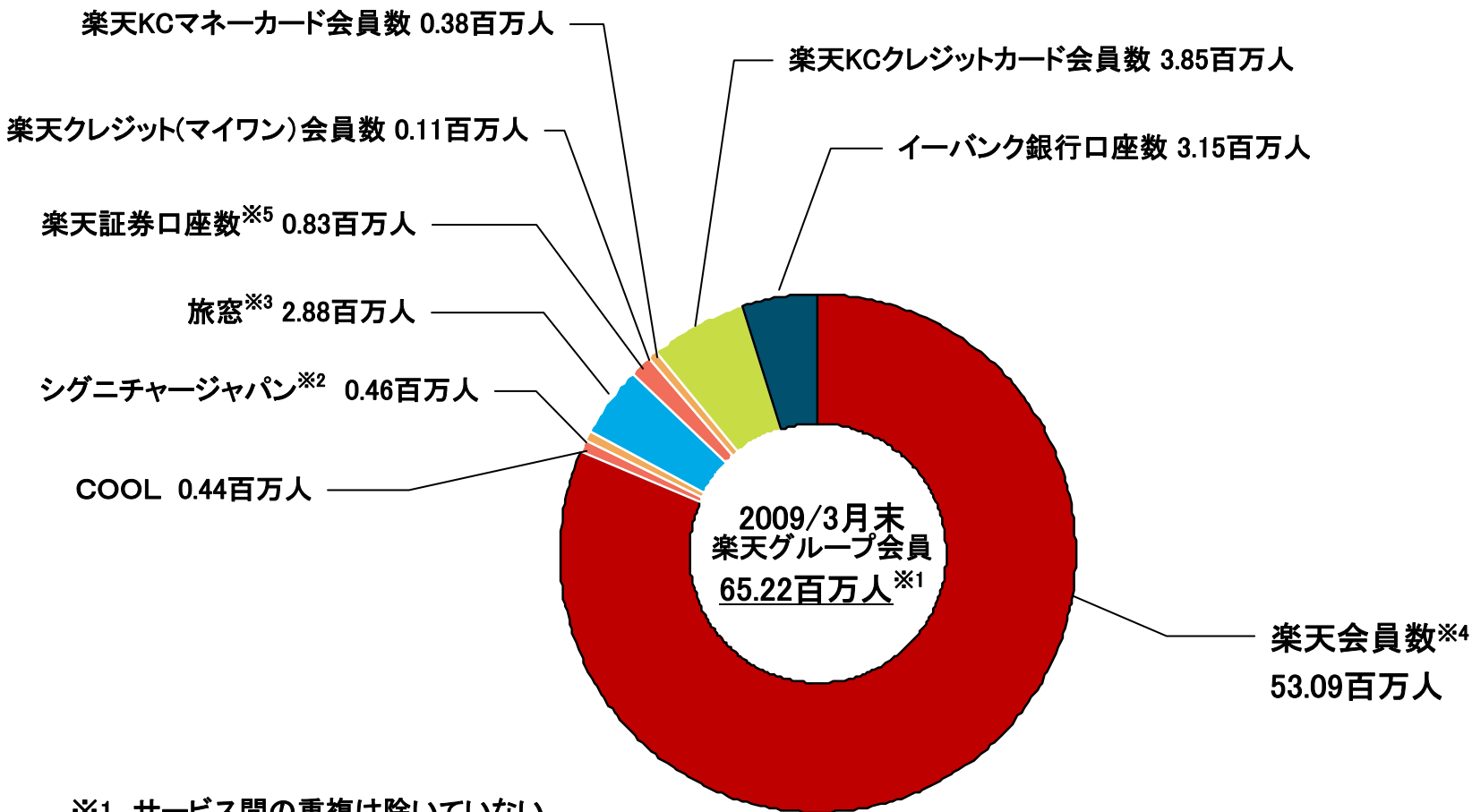
- 楽天KC、楽天クレジットで生じていたオフバランス残高は減少、将来の営業キャッシュ・フローへの影響は軽微に



ネット証券主要5社比較



各社のホームページ開示資料より、当社にて計算



※1 サービス間の重複は除いていない
2006/4Qより金融事業の会員を追加

※2 契約カードへの自動付帯含まない

※3 旅の窓口会員は楽天会員IDに移行した人数除く

※4 Ynot会員は2007年7月末に楽天会員IDに完全移行

※5 2008年6月末に一部の不稼動口座の閉鎖を実施

樂天